新京日日新聞
夕刊
十一月八日(水)
發行所 新京日日新聞社

寶石 銀器 中谷時計店 新京 奉天

我爲替相場の前途
豫測全く困難
爲替銀行筋の意見

〔東京七日發國通〕二十九弗臺を續けて居る最近の對米爲替の前途に就き爲替銀行筋の意見を綜合するに大体左の如き觀測を下して居る

一、過般米大統領の爲せる金買上、弗價引上げ政策は所期の目的たる物價吊上げに效なく、その後更に如何なる新政策を弄するかは全く不明で、孰れにするも弗爲替はその場合に常に急變動を餘儀なくせられる

一、從來弗の落調も英米平價四弗二十六仙位を一つのエポツクとして考へられて居たがここ一兩日の如くそれを越えて高騰するに至つては最早前途豫測の根據を失つて了つた感がある

一、實に最近の英米爲替の急騰は主として此の弗の將來に對する見透しが全く混亂して了つたところ米國々內銀行に於ける思惑買が旺んとなつたためで斯る海外市場の混亂から內地貿易業者並びに爲替業者も全然迷ひ形勢觀望されるより外致方ない

一、現下の貿易事情から見ても輸入期にありとは云へ米國棉花相場は別に高騰の兆なく日印會商の結果を待ち依然米棉輸入は東洋のみにとゞまつて急がず一方輸入ビルの出廻りも爲替の前途不明から焦らず輸出入ビルとも極めて少量の取極めあるのみで氣乘薄の形である要するに今次の弗價の變動は全く米大統領の國內物價引上げ策の犠牲として全く無軌道的のものである、而かもこれに對する英佛兩國の情勢並びに態度も極めて急迫せるものを感ぜしめる通り海外市場の動搖は全く見透しを許されぬものあるため、我爲替相場の前途は如何とも豫測し得ずとされて居る

在營鮮人へ
大亞細亞主義の檄文
廣東大亞細亞協會から

去る三日廣東大亞細亞協會籌備處より營口朝鮮民會に宛て檄文を送附し來つたが、その內容は

歐米諸國の帝國主義は亞細亞を侵略すべくあらゆる方法を以て暗躍しつゝあり、此の際同文同種の日、滿、支三國は相提攜して對抗すべきである云々

といふものでセンセイションを起してゐる

出淵大使
袂別の挨拶

〔ワシントン六日發國通〕今月末ワシントン出發歸京の途に就く駐米大使出淵勝次氏は六日國務省にハル長官を訪問し袂別の挨拶を述べた、出淵大使の出發は今月末であるが長官が明日からリトヴイノフ氏との米ソ國交恢復交渉で忙しくなる筈であり、更に十一日にはモンテビデオに於ける汎米會議に臨むため出發するので斯く早めて挨拶に出かけた譯である、尚出淵大使は八日ニューヨークに赴き一流邦人實業家と二日に亘つて協議を遂げ堀內總領事以下と會談十一月二十四日家族同伴ワシントン出發サンフランシスコに向ひ同地で太平洋岸各地の總領事とも會見の上三十日出帆の淺間丸で横濱に向ふ筈である

十月中旬の繋船數
九月より七隻減ず

〔東京七日發國通〕十月中旬に於ける本邦主要港の繋船は隻數四百廿五、九月中旬に比し七隻を減じ、噸數十七萬六千噸で七千八十六噸を增加したのは帆船、木船の繋船減と大型汽船の新繋船增加の爲である

第六十五議會
召集日等正式決定

〔東京七日發國通〕第六十五通常議會召集に關し七日の定例閣議で協議の結果左の如く決定した

十二月二十三日召集、二十四日は日曜日、二十五日は大正天皇祭に付き休會、二十六日開院式擧行

尚議會召集の詔書は來る十一日頃公布される豫定である

無電王マルコニー氏に
拜謁敍勳の御沙汰

〔東京七日發國通〕本月十六日秩父丸で來朝するマルコニー氏に對し　天皇陛下には畏くも拜謁を賜ひ敍勳の御沙汰あらせられる模樣と拜察される

木村膠濟鐵道車務處長
赴任の途に就く

〔東京七日發國通〕膠濟鐵道車務處長に就任の仙臺鐵道局長木村芳人氏は七日午後九時四十五分東京驛發赴任の途に就いた

滿洲炭礦會社
統制各炭礦事情(二)

△尾明山炭礦

奉天省遼陽縣內で滿鐵煙臺炭礦の南方七、八キロにあり、奉天まで七十一キロ、遼陽まで四十三キロの地點にある

同炭礦は遠く高麗人の採掘せる遺蹟があるが、光緒二十八年露支合辦天利公司により經營され、日露戰後露人の權利喪失し、民國三年奉天省財政廳出資の政府經營となつた、事變後一時地方治安維持委員會が管理せるも匪賊の横行に經營捗々しからず遂に採掘を中止した

埋藏量は正確でないが尾明區域百七十萬噸、新合辦區域七百六十八萬噸、計九百餘萬噸と云はれてゐる、炭層は煙臺炭礦の一部を爲し炭層全部で十八層に亘るが、目下稼行し得べきもの五層に過ぎず、厚さ一米乃至二米である

炭質は炭層によつて種々異り無烟炭も有煙炭もある、販路は從來奉天、遼陽、營口等で主として爐煤用として使用され、銀安時代は相當振るつたこともあるが、今迄は煙臺との競爭立場にあり不利であつた

△新邱炭礦

熱河省阜新縣に在り、大新、大興兩公司の礦區は打通線新立屯驛から三十二粁の地點にある

本炭礦は光緒三十年の發見にかゝり京奉鐵道が經營してゐたが、大正三年大倉組技師が觀察に赴き馬賊の兇手に斃るゝや賠償として本礦區域の權利を取得し大新、大興兩公司(日支合辦)を設立後大正五年滿鐵之を引繼いだ、事變前は專ら試錐と一部地方の需要に應じて居たが、事變後治安不安のため採掘を中止した、本炭礦全部の埋藏量は未だ完全な調査を經てないから解らぬが大体に於て十一億噸と觀られてゐる

炭層は大体に於て三層あり最下部層最も良質で厚さ最高十六米、平均六米である

炭質は良質なる部分と然らざる部分とあるが、一般に漆黑色有煙炭で火付速く無煙炭に酷似してゐる、販路は從來は炭礦附近及び阜新、新立屯、黑山、義州等極めて小範圍に過ぎなかつたが、同炭礦の埋藏量は滿洲に於ける最も豐富なものであつて、而も採掘比較的容易にして、且つ葫蘆島完成後は期して見るべきものあり第二の撫順として刮目されてゐる

△鶴立岡炭礦

黑龍江省湯原縣にあり、ハルピンより松花江を下ること五百粁佳木斯の對岸なる蓮江口より炭礦鐵道にて五十餘粁で達する地點に在る

同炭礦は民國三年の發見にかゝり民國十八年、官商合辦として張學良、吳俊陞及び廣信公司等之に關係したが、學良は資金難のため之を外人に賣却せんとしたが果さず抗夫の土匪化等種々な變遷を經て事變後、滿洲國實業部斡旋の下に大同二年二月公司の組織を改め新董事を任命し今日に及んで居る

日滿悲曲 生命線を行く
(撮影上映)
國友雄吉
(荒川芳三郎畫)

(十一)

鳥影射す

「お父さん、大層けふは元氣ですね」と飛彦は云つた。

彼は、當世風の青年紳士とも云へる、瀟洒たる風采の持主であつた。齡は三十七歳の血氣盛り。鼻下の髭と眼鏡とが、色の白い顔に能く似合つてゐた。しかし、その唇の薄い口もとの邊に、なんとなく輕薄らしいところがあつた。

周作氏は、蒲團に背をもたせかけて、床の上に、起き直つてゐた。この三四日といふものは、殆んど横になりづめであつた彼が、けふは、よほど氣分が、宜ければこそ、かうして、坐つて居れるのであつた。

「今日は、近頃にない好い氣分でね、朝から、なんだか愉快でしやうがない。何か、嬉しい事が訪れても來るので無いかと思つてね——」

周作氏は、やつれた顔に、寂しい微笑が浮いた。或ひは今日あたり、ヒョッコリ伸一が歸つて來るのでないか——? 彼は不圖、そんなことが、心に浮んだのであつた。

折も折、待人の來る知らせのやうに、縁の障子に鳥影が射した。

「それは多分、お天氣のせいでせう。暑からず、寒からず、まことに、誂へ向の、好天氣ですからね」

飛彦に、周作氏の氣持はわからなかつた。彼は、病人の機嫌の好いのは、只、天氣のためばかりだと、思つてゐる。

「どうでせう——御氣分が宜しければ、少し、お話しを申上げてもかまひませんか」と、やゝ改まつて飛彦が云つた。

「どんな話か——承はつてみやう——」といつたが、その話といふのは、大體見當が付いてゐた。周作の顔にはもう、不快の色がたゞよふた。

飛彦は、座蒲團の外へはみ出るほど、洋服の膝を押し進めた。

彼は、病人の手前、好きな煙草を遠慮してゐるので生唾を、グッと呑み下した。

「お話は、例の久彌君を、相續人にしやうといふ一件に就ての、御相談ですがね——」といつて飛彦の、野心家らしい眼が、チラと、周作氏の顔色を窺つた。

周作氏は「またか——」といつたやうな顔をした。

「その話なら、どうか止して貰ひたい。まだ、なかなか、わしは死にやしないから、あわてゝ相續人などを取りきめる必要はない。相續のことなどを考へるのは、チト早いかと思ふよ」

「あなたは、直ぐにさうおつしやる。だから僕はつらい。僕は、この話だけは、實のところ眞ッ平御免を蒙りたいんです。ですが、お母さんの心配の樣子を見ると、お氣の毒で、チット見て居られないものだから——」

「いや、それは。わしにも能く分つてゐる。だから女は困る。殊にうちの奴と來たら、一倍愚痴つぽいから——」

周作氏は、眉をひそめた。

「しかし、お母さんだつて、決してお父さんの不幸を望んでゐらつしやるわけではありません。只、家の將來に就て、いろいろ心配されるものだから——」

「毎度言ふことだが、家には、伸一といふ立派な總領がゐる。それを忘れてゐるのではなからうね」

伸一の名が、話の中へ出て來ると、今度は、飛彦の方が、みるみる不快な顔になつた。そして小鼻のあたりに、冷笑を浮べた。

「立派な總領ですか——お父さんあまり立派でもないじやありませんか」

さう言はれると、周作氏は、さすがに一言もなかつた。彼は、自然とうなだれてしまつた。

しかし彼は、伸一を罵り、憎む氣には、どうしてもなれなかつた。四人の子の、誰よりも、やはり一番可愛かつた。伸一のことを惡く言ふものは、誰彼なしに憎らしかつた。

日日案內
三行 一回金九十錢 一ヶ月金三十錢
五行 一回金一圓三十錢 一ヶ月金八十錢
十行 一回金一圓五十錢 一回金十一錢
姓名在社 御申込みは電話三三〇〇番

下宿 問合せは朝日館 電話三八〇二番へ

新京ビル內空室あり 寶洋行 電三七三三

女中入用 內地人年齡ヲ問ハズ給料面談 日本橋通 藤井

貸家(新築) 場所 朝日通領事館警察署前 二階八疊二間六疊一間 階下店舗外三疊地下室 詳細東二條通廿二 横濱屋 電話四七七四稻葉

職人 入用日本語ニ通ズル滿人ニテ モ良シ 見習生 入用十五六歳ヨリ二十歳マデ 六緯路三十四號 竹田洋服店

金融 極秘 信用 日掛 月掛 動人 歡迎 吉野町三丁目八(長春座前) マキノ 電二七二五番

金融一般 極秘迅速貸出 朝日通朝日ビル前 天心洋行事務所 電話三四六〇番

御履物 吉野町 こらや履物店 電二九八一番

土地 家屋 住宅 電話 賣買並仲介親切に御紹介致します 紹介處 新京東一條通金光教前 萬成社 電話四八八四番

造花及生花 神佛具 葬具一切 加藤葬儀社 新京祝町二丁目 電話三二〇八番

滿洲國政府公報 雜誌販賣開始 大阪東京朝日新聞 朝日社 栃尾新聞舖 東二條通廿一 電二三四二番

質 貸出勉强 保管確實 流質品安賣 本店大連 祝町三丁目七〇四 博多屋

廣告の御用は電話三三〇〇番へ

二大權威の折紙附 御待望にピッタリ適つた センターストーブ
室用種類大小五種
關東軍滿洲國政府本年新型多數御買上の榮を賜
普及型十五號型金七十圓より
炊事兼用三種
◎帝國發明協會ニ於テ本年表彰ニ際シ獨リ「センター」ノミ有功賞ヲ授與セラル
◎國立燃料研究所ニ於テ有烟石炭使用嚴密ナル試驗ノ結果熱效率最優良ニシテ特ニ輻射熱ハ他品ノ二倍ヲ有スル事ヲ確證セラル
代理店 仁和洋行 七十三笠町三丁目 電三・四七一番 三八二五二

AMAGURI-TARO 甘栗太郎
▽內地土產に甘栗を△
新京・銀座 甘栗太郎 電長二八八七番
果實部新荷到着◇
再び大奉仕廉賣
台灣バナナ ……百匁……十四錢
ジヤボン ……百匁……十四錢
好ましき南國のフルーツ
今こそ本年最後のお買ひ時です
これからバナナもジヤボンも値はどんどん高騰致します
どうぞ賣り切れません內にお買上を

木炭は 室町 藤村 電二二四番

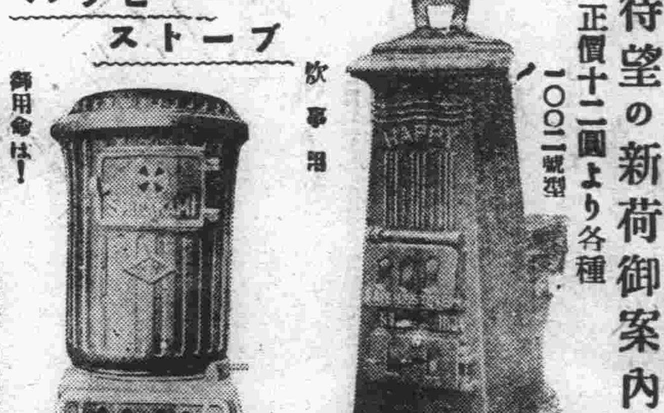
●酒よし●味よし●女よし
東一條通 精養軒 電話二三〇五

襖專門 梅ヶ枝町四丁目十四番地 電話三三四一番 古永堂

北鮮經由東京へ!!大阪へ!!
一東京ヘ國際列車一 (東京より直通)
滿洲丸(雄基・清津出帆 毎六・十六・廿六日(月三回))
天草丸(雄基・清津出帆 毎一・十一・廿一日(月三回))
北日本汽船株式會社 代理店 北鮮運輸

お寒い時は……!『浪花飾の暖ひ』
お飾と茶椀蒸しを是非御試し下さい
吉野町二 北滿旅館横 電話三三八二番

威權の界斯 ハツピーストーブ
御用命は! 日本橋通二十二 電話二一五〇番 梅ヶ枝町二ノ二 電話四八三二番 大本商行
炊事用
御待望の新荷御案內 正價十二圓より各種 一〇〇二號型



執拗な挑戰態度に
我もまた强硬態度に出る
先づ太田駐露大使を召還し
詳細實情を聽取

〔東京八日發國通〕ソ聯邦人民委員會議長モロトフが十月革命の十六周年に際し、六日モスクワに於て、内外國策に關する長演説を爲し日本の攻撃を不可避の如く豫想し吾々は不日の重大攻撃に對し常に完全な用意を備へて置くべきであり、吾々の任務は唯一の敵を完全に敗退させ我が赤軍の勝利を確保するにあるのみと赤軍の强化を高唱せるに對し、我が朝野はソ國の傲慢なる挑戰的態度に甚だしく憤慨してゐるが、我が當局に於ても之を頗る重大視し此の際國民は微温的な日露親善論に迷はず確然たる對露政策を樹立すべきであるとの態度を明示した

乃ち今回のモロトフの演説は曩の怪文書事件が日本に於て極めて冷靜に迎へられ豫期の反響無きに鑑み第二段の挑戰に出て有利なる立場を確保せんとする態度に出たものでソ聯側の意圖するところは

一、リトヴイノフが愈よ米國に到着し米露兩國の國交恢復交渉が開始されたるに當り、殊更に日露關係の惡化を放送し、米國が日本牽制策としてソ國承認の斷行を已むなきに至らしめんとするところ

一、日本軍部を刺戟し對露工作に積極的態度に出でしめ延いて民衆の反軍部的感情を誘致日本國内の混亂を惹起せんとする事等あり、日本當局が此の際ソ國の斯る言動を以て單にソ國の國内的對策によるのみとなし冷然と構へるに於いては蘇國をして徒らにつけ上らしめるものであつて、ソ國にその常套的執拗さを以て反日宣傳を世界に流布しその勢の趣くところ兩國關係に重大な結果を招來するは明瞭な事實である、我が朝野は此際輿論を一致しソ國に對し重大意思表示をなすべきである、即ち力の政治と力の外交を目標とするソ國に對しては我方に於いてもこれに對應する策を施すべきであつてソ國が我方に對つ挑戰的態度を改めざる限り日本も飽くまで强硬對露策を施すべきである

而して外務當局としては之が第一着手として先づソ國が今後日本に對して如何なる行動に出でんとするかその意圖を確むべく駐露太田大使を招還し、ソ國實情を詳かに聽取せんとする意向に傾きつゝあるものゝ如く日露關係は北鐵交渉等により表面カムフラージされてゐるに拘らず、この兩國間の暗流は漸く表面化せんとしつゝある

日本若し國境を侵せば
われに完全なる用意あり
革命記念日にモロトフ聲明す

〔モスクワ六日發國通〕十月革命十六周年記念日に當りソ聯邦人民委員會議長モロトフ氏は内治外交政策一般に就き報告したが、特に外交政策に就き左の如く述べた

日本との外交關係はソ國勞働階級が最も注意してゐる處で、若し日本にして國境を侵略するが如き場合はソ國は日本に對する萬全な用意を完成しをり、何時侵入し來るも之を擊破するの斷乎たる決意を有する

坂本中將
拜謁を賜ふ

〔東京七日發國通〕第六師團長坂本中將以下幕僚は午前十時四十分宮中に參内、御學問所で閑院總長宮、荒木陸相、本庄侍從武官長侍立の上拜謁を賜ひ熱河作戰の模樣を奏上した

滿鐵辭令

哈爾賓醫院煖房方 甲種傭員 中村秀次
新京醫院雜務方を命す

内政國策協議
第一回閣僚會議
先づ後藤農相から
農村國策確立に關し意見開陳

〔東京七日發國通〕齋藤首相は七日午前九時首相官邸に堀切翰長を『招致』し、内政問題閣僚會議開會につき約一時間に亘り種々協議を爲した結果、第一回の内政閣僚會議は農村問題に直接關係のある閣僚だけで開くことに決定したので堀切翰長は閣議に參集したる高橋藏相、山本内相、後藤農相、永井拓相、鳩山文相、三土鐵相と會見して承認を求め其諒解を得たが第一回の内政國策確立の閣僚會議は藏相が豫算省議の關係で齋藤首相を中心に内相、農相、商相、拓相の直接關係閣僚のみで開くことに決定午後一時より官邸に居殘つて開會先づ農相より農村國策確立に關する意見の開陳ありこれに對して各閣僚より意見を述べ愼重審議を遂げ三時半散會した

『次回』は十日の閣議後午後一時より審議を續行する筈である

次回より
三土荒木兩相も參加

〔東京七日發國通〕既報内政國策閣僚會議の席上齋藤首相は「人心不安一掃のため一方策として農村問題について根本方策を樹立して行くのが必要だと思ふ故各位の愼重な御意見を承りたい」と述べ、閣僚の協議を要望した、これに對し後藤農相は「農村の現狀を表面的に見れば左程切迫してゐないやうに思はれるが各農村に於ける考へ方が地方に依つては相當深刻になつて來てゐる因つて此儘放置して置く場合は重大事態を引起さないとも限らぬから此際恒久的對策を樹立し、農村を救濟し農民をして前途に光明を與へる樣にしたいと思ふ」とて各地の實情を報告、併せて農林省の對策を説明、之に對し各閣僚の意見開陳あり、農村問題の前途に對して光明を齎す樣に具体案を確立する事に根本方針を決定し、關係各大臣は農相の意見其他を基礎として具体案を立案し十日の第二回會合に提示する事に決定した、次で關係閣僚會議の構成に就て協議した結果、荒木陸相三土鐵相をも次回から加へる事に決定した

上海の白系露人
日本の後援を主張

吉林某機關に達した情報によれば最近日ソ關係の複雜化に刺激されたる在上海の白系露人間に親日團体を組織せんとする機運起り白系露人は日ソ衝突の際は我等白系團体は日本の庇護下に於てのみ生命の保全を有する故全力をもつて日本を後援せよと主張し七月末以來數度に亘り内外諸問題を討論し領土的野心なき日本と共に共産下に呻吟する良民を救出する準備なりとますます其の機運濃厚化してゐる

空閑少佐の恩人
甘少佐に
日本刀贈呈

〔東京七日發國通〕空閑少佐の恩人中國公使館附武官甘介瀾少佐は今回歸國の途に就くこととなつたので大隈信常氏等の發起に依り十日送別會を開き、記念の爲め日本刀一振を贈呈することとなつた

滿鐵社員會
經過報告會

新京滿鐵社員會聯合會では來る十三日新京高等女學校で去る二十七、八の兩日大連で行はれた社員會評議委員會の經過報告をなす

山口縣下で
高校、高商を中心
に再建中を檢擧

〔山口八日發國通〕山口縣下の共産黨運動は先の檢擧で絕滅と觀られたが又高校、高商を中心に再建運動をなし居ること判明し縣當局は七日未明を期し縣下一齊に大檢擧を行つたが山口署管内で高校生十二名、高商生六名各署その他で合計四十名檢擧された、中には曩に轉向を聲明し監視を受けつつ地下運動を續けてゐたものもあり、縣當局では徹底的に取締り斷行の方針である

人事往來

▲大藏公望氏（貴族院議員）七日午後三時二十五分歸京哈市から
▲加納大佐（第〇〇團參謀長）七日午後四時着吉林から
▲馬場中佐（新京憲兵隊長）七日午後七時三十分着歸京
▲青木信一氏（國道事務所長）同上
▲馬場中佐（新京憲兵隊長）八日午前六時三十分發吉林へ
▲北島中佐（旅順重砲兵大隊長）八日午前九時發大連へ
▲榊原政雄氏（榊原農場主）國都ホテルに投宿中の處八日午前九時發内地へ
▲松室大佐（チチハル特務機關長）八日午前十一時四十五分飛行機で離京チチハルに赴任
▲小日山直登氏（前滿鐵理事）十日午後七時三十分來京の豫定
▲杉山金太郎氏（豐年製油會社長）同上
▲象井潤臣氏（金福鐵路公司支配人）八日午後四時三十分離京

團体

▲獨立守備一大隊（先發隊）浦野中尉以下三十八名八日午前九時五十分發通化へ
▲飛行〇〇〇隊松岡中佐以下〇〇〇名八日午前六時三十分發奉天へ

米艦隊大西洋廻航に關する
司令本部の發表

〔サンフランシスコ六日發國通〕米艦隊司令本部は六日米艦隊の大西洋廻航に就き左の如く發表した

艦隊は一九三四年四月九日サンペトロを出發途中演習を行ひつつ六月一日大西洋根據地に到着、八月一日大西洋岸出發、九月一日サンペトロに到着す

猪苗代四平街署長着任

鳥越四平街署長の後任として關東廳警務局より榮轉の猪苗代直弼氏は八日午後五時四十二分着列車にて官民多數の歡迎裡に着任した（四平街）

ス軍令部長
割賦積立制度による
代艦建造計畫を議會に勸告

〔ワシントン六日發國通〕米國政府は公共事業法の一部として承認された二億三千八百萬弗の財源により合計三十七隻の海軍艦船大建造計畫を樹立し一九三四年度より愈よ其實行に着手することになつたがスタンドレイ海軍軍令部長は右新艦建造に關聯し之と別個に割賦積立制度による老朽艦艇の代艦建造計畫を海軍當局の意見として議會に勸告することに決した、右代艦計畫は新巡洋艦の建造と同時に其建造費の二十年割賦積立を開始し割賦で艦造費資金の積立を行ふことを骨子とした制度で二十年の後には該艦の艦齡滿了と同時に自動的に代艦建造に着手し得る資金を得ることを目的とするものである、因に一九三四年度建艦計畫に就ては海軍當局は尚具體的勸告案を決定してゐない

外務異動

〔東京七日發國通〕
ペルシヤ公使館一等書記官　上田仙太郎
任ロシア大使館參事官

黑龍江上流で
滿人、赤衞軍に虐殺さる
滿洲國側眞相調査

〔ハルビン七日發國通〕某所着電に依れば十月上旬黑河上流の乾岔子の對岸ペトロヴスキーの滿洲國人がロシア赤軍に虐殺され掠奪を受けた、これに對し滿洲國官憲は目下調査中であるが眞相判明せば嚴重抗議の筈である

關東州復縣の
國境々界線紛爭問題圓滿解決

滿洲事變後普蘭店警察署と滿洲國復縣當局の間に醸されてゐた日滿國境々界線紛爭問題は一地方問題として『解決』せず遂に關東廳對滿洲國外交部の問題となり日滿兩國最初の紛爭として多大の注目を惹いて居たが五日奉天ヤマトホテルに於て兩國關係者協議の結果「普蘭店に於ける日滿國境は滿洲事變直前の狀態を以て兩國の境界とす、復縣に屬する兩地の警備は關東廳警官之を應援す」と云ふ條文で兩國の妥協成立圓滿解決を見た、右紛爭の發端は滿洲事變當時關東廳に國境警備の必要上境界線に警備道路を設け普蘭店警察の警備區域として居たが滿洲國成立するに及び復縣當局は右新警備區域は滿洲國領なる理由を以つて撤退方を要求し來り一方警察署側も治安維持關係より直ちに應じ難き事情に置かれたので兩者自說を固持して讓らず遂に中央問題と化したのであるが一年餘に及ぶ國境紛爭も滿洲國治安失態の『恢復』たる事實であつて雲散霧消し睦く解決を見るに至つたものである

六日の日印會商
日本側の讓歩により
會議の前途頗る有望

〔デリー七日發國通〕六日の會合に於て日本側が數量協定中の綿布の『數字』は印度側の出方に依つては印度案を承認するとの意思表明に拘らず印棉に就いては、更に協議したいと述べたが、印度提案の模樣を仄聞するに印度側は先に印棉基準を百二十五萬俵としてゐる時に日本の反對で基準數字を百萬俵に引下げたが、その代りに百二十五萬俵を越す時に初めて一俵當り二百碼の割合で增加しては如何と提議した由で此の案は如何にも百萬俵買へばそれに綿布も基準數三億二千五百碼輸入出來る譯であり只百廿五萬俵未滿は幾何程買つても綿布の輸入割當を增加せず、百廿五萬俵を越せば直ちに增加するといふ譯で、然も印度側は之を以て非常な讓歩だと稱してゐる、本會議は日本側の右讓歩により會議の前途は頗る有望となり九月廿三日の豫備會商後五旬に亘る日印交渉も實質的に解決したと言へる、尚は印度側は簡單に關税を五割に引下げるとの意思を示し、最惠國待遇に就ても頗る簡單に之に同意し之に基き日本側から産業保護法適用を中止し差別待遇を避ける爲從價税を從量税に改める等日本に有利な狀勢になり印棉輸出量と日本綿布輸入量と『關聯』させる事となつた譯で日本側が印度案に對し綿布割當基準三億二千五百萬平方碼に漕ぎつけ之が殘る問題は品種別、季節別問題やビルマ問題が片付けば日印會商成立の可能性充分と樂觀されてゐる

七日の日印私的會商
略々妥協成立か

〔デリー八日發國通〕七日の私的會商は約一時間で正午に濟んだが六日の本會議に對し得なかつた點等に對して補足的討議を行ひ解決の促進を圖つた、其の結果大体の諒解は出來たらしく、日本側に本國からの回訓未着で具体的意見の交換は無かつたが今日の會見で解決愈よ近しと信ぜられるに至つた、次回の本會議は八日開會の筈であつたが突加九日に延期された、其の理由は八日大阪で官民協議が行はれ回訓未着の爲めである

第七次
私的會商を爲す

〔デリー七日發國通〕殘餘の問題を一氣に解決するため澤田代表は午前十一時商務省にボーア長官を訪問し第七次私的會談をけつた

風間丈吉
完全に轉向を誓ふ

〔東京七日發國通〕非常時共産黨の中央執行委員長風間丈吉は昨年十月三十日檢擧市ケ谷刑務所に收容中だが去る五六月頃から例の大森ギャング事件をはじめ黨がとつた資金網獲得について自己批判を始め殊にコンミンタンが彼の立場を全然無視して屡々戰線を變更することに多大の憤懣を抱きコムミンタン否定、共産黨否定の結論に到達し、數日前東京地方檢事局の戸澤檢事に對して上申書を提出し完全に轉向を誓ふに至つた

五、一五事件
民間公判
橘の論述で閉廷

〔東京七日發國通〕五、一五事件民間側公判は午前九時より開廷、訊問に入り橘國體論を說き「マルクスは經濟的に有勢なものが政權をとると言つてゐるが我國の歷史は決してさうではない」と反駁論を爲し、午後三時四十分閉廷、次回は分離されてゐる頭山秀三の審理に入る筈である

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　一八片八分五
同遠限　一八片四分三
紐育銀塊
孟買銀塊

▲上海標金
本寄
歩値

▲上海日本向
第一回
第二回
第三回

▲上海倫敦向
賣値
買値

▲上海紐育向
賣値
買値

▲大連金鈔票
現物
十一月十三日限
十一月二十七日限
寄付

各地市場

▲大阪株式
▲同短期
▲大連株式
▲大阪三品
▲大阪棉花
▲大阪期米
▲仁川期米
▲横濱生糸
▲神戸豆粕
▲カルカッタ麻袋
▲大連特産
●麻袋
●大豆
●豆粕
●豆油

▲阪神日米爲替
第一回

▲大連上海向
▲大連臺台向

新京市況

粗豆現物

特産現物　出來
大豆
高粱
小豆
包米
同先物出來不申

錢鈔
鈔票對金票
現大洋對金票
國幣對金票
現大洋對鈔票

御寫眞なら
速くて！　安くて！　美しい！
三拍子揃つた電氣寫眞館で!!
吉野町二丁目（甘栗太郎横）
双美寫眞館

洋服調進並高級既製品
KK 大上洋行
洋服部
新京永樂町一丁目
電話二二二四番
本店大阪・支店京城

保險は信用厚く取扱懇切の
明治生命
御申込は新京代理店
仁和洋行
電話二五八二番

社員募集
一、年齡廿五歳以上の相當教養ある日、鮮、滿人を求む
一、駐在地滿洲國主要各地
一、履歷書持參來社
千代田生命新京事務所
新京中央通三三
電話二一四五番

まづ汽車は三等で 第一線を体驗

岡山縣愛國婦人會の三代表 皇軍慰問に大活躍

岡山縣愛國婦人會を代表してはるばる在滿皇軍を慰問すべく來滿した阪本、齋藤、八木の三女史は新京聯合婦人會赤木幹事の案内で七日在京各部隊を慰問し、八日午前八時ハルビンへ向け出發した、一行は吉林敦化その他

『京圖』沿線も一々歷訪して親しく皇軍兵士達を慰問することになつてゐるが三女史とも素晴らしい意氣込みで酷寒の第一線に立つ兵士達の辛苦を味つて吾等の勇士達を心から慰め歸つて母國の同胞達にも傳へたいと語つてゐたがこの意味で今度の旅行もずつと汽車も

『三等』でおし通し出來得る限り不自由を偲んでゆかうと婦人乍らに誠に雄々しい限りである

東西合同歌舞伎

十三日から

目下大連劇場で出演好評を博しつゝある東西合同歌舞伎劇一行、嵐三五郎、市川海老十郎中山延見子ほか六十三名は滿鐵後援の下に沿線各地を巡回すべく新京では十三日から三日間開演の豫定である

聯合婦人會の總會開催準備

いろいろ余興も上演

新京聯合婦人會では既報の通り七日午後新京高女において幹部集合、來る二十一日の總會について打合せたが、當日は總會の受付、會場その他各役割を決定した、總會は午前十時から新京高女講堂で開催吉澤會長以下會員一同參集のうへ、議事に入るが當日は軍部の有力者を聘して講演を聽き終つていろいろ余興もあるべく目下それぞれ交渉中で午後三時ごろ終る見込である、因に中食は會員負擔二十錢として準備することになつてゐるから豫め御承知のうへ舉つて參加せられたいと

大和藥業組合 五萬圓施藥

曩に滿洲國協和會を通じ五萬圓の施藥を聲明せる大和藥業組合はその後全組合員を舉げて之が準備に忙殺されて居たが愈よ諸般の手筈整ひ十二月初旬を期して神戸港より積荷することとなつたが之が配給方法に關しては六日同組合役員鎌本榮次郎氏來滿入京し協和會と打合せする所あつた藥品は八種類で包裝紙には王道主義宣傳の標語が印刷してあり同會地方辨事處及び分會を通じて全滿に行亘らせる筈である、因に同組合は施藥とは別に販路擴張の目的で大和藥業滿蒙輸出組合並に協和製藥公司を設立し奉天商業會館内に出張所を設置した

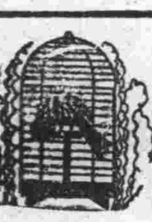
十家堡驛で 遭難驛員記念碑 除幕式

昨年十一月五日十家堡驛に匪賊襲擊し來り、その際殉職した四名の驛員のために同驛同志相謀り十家堡驛北側低地鐵道用地に記念碑を建設工事中の處この程完成を見たので一周年に相當する十一月五日各遺族を招待して十二時半から盛大な除幕式を舉行した

鐵道の青木さん 本社へ榮轉

後任は輸送課芳賀技師

新京鐵道事務所長青木信一氏は七日附をもつてこの度本社鐵道部付に榮轉した、なほ後任には鐵道部輸送課技師芳賀千代太氏に決定、近日中着任の豫定である



新京隨筆（一）

兼井鴻臣

新聞は商品であると云ふて新聞記者の卵を憤慨させたことも過去となり、ジャーナリストは社會の木鐸であると云ふたことも今は殆ど通用させ得る人に乏しくなつた、ジャーナリストとは上情下通、下情上達、甲地の情況を乙地に報じ、乙地の出來事を甲地に傳ふる一種のブローカーなりと敢て記者は言ひたいのである

斯く言ふとジャーナリスト諸君の尊嚴を冒瀆すること甚しい、而して大にブチヨク心感ずる無冠の帝王もあらう、然し此說に對し全然反對し眞に社會の木鐸なりと自認するジャーナリストありとすれば記者は詢に意を强うするものである、是非斯る仁と會見して大に論じて見たい記者は新京ヤマトホテル第十二號室に居る、御來訪ありて其の說を說破し且つ御垂教を希ふものである

▽……△

斯く書き來ると此の新京隨筆に筆を走らせて果して商品に價値付け得るか、否かは是れ記者の關知し得ぬ所で只讀者の御判斷に一任するものである

▽……△

又後段の說は結局己れの落ちる穴を己れ自ら掘つたものである、記者は少くとも此隨筆に筆を染めて居る間は一種のペンブローカーなることを自認せざるを得ない、然し斯く自認して掛ると極めて心安く感ずるものである

▽……△

アノ大きな椅子にフンゾリ返りて乃公あらずんば滿洲國の建設工作如何せんと自惚れる連中は天理を解せぬものである、得意の裡に失意の胚胎し得ぬ事を、得意即失意の失意即得意!!の眞理を把握して進むこと、否此の邊の事を自覺して滿洲國を料理し得る丈けの雅量のある人は、出す言葉穩かなりと雖自ら靈籠り、其執るペンには自ら天地自然の眞理が躍るものである、私は八千萬日本人と三千萬滿洲國人とに成り代りて是非還理を毎日得意の椅子に就く前に三省して而して天の眞の使命なるものを感得して軈て表はれる其人々の歷史の光り輝かされんことを新京神社を通じて今得意なる英雄偉人諸公に御一考を煩して留きたいと祈念するものである、序のことに、更にジャナリズムに筆を走らせて見ようジャーナリズムとは其場合に應じて新聞又は新聞記者の方法態度、行動精神、職業、事業等々の兎に角新聞又は新聞記者に關する一切を、又部分を意味するものとして用ひられ、それよりして「新聞的」の又は「新聞記者的」の總てに運せられる半ば侮蔑的の言葉として使用されて居るそれは記事の不正確なことや、認識の科學的でないことや考へ方の哲學的でないことや、趣味の文化的でないことや、判斷の公正でないことや、事大主義であることや、流行主義であることや、等々を舉げられる、而して科學者でも、藝術家でも、哲學者でも其の本來の性質から隔離しつゝ然かもよく衆人を瞞着する技術を持つものをジャーナリストと呼ぶべきであると、こんな意味のことを述べた斯界の先覺があつた樣に記憶する

▽……△

之でまあブローカーの後塵を拜する一番生として禿筆を進めて見よう、ジーだ今日は第一に東拓の滿洲に於ける總帥として押しも押されもせぬ渡邊得司郞君と逢つての印象を書いて漸次各方面に記者の鈍感振り否々無學振りを旅の恥として書き捨てて大連に歸ることにしよう

……續く……

強盜團の頭目 姜子禮、驛頭で絶命す

突然心臟痲痺を起して

既報、新京城内外を荒した拳銃强盜團一味幾黨頭目姜子禮(二七)外三名の逃走犯人は新京署の必死的大活動で逮捕した、四平街に出張した河本警部補以下二刑事は頭目姜子禮以下二名を連行七日午後六時五十五分新京着列車で意氣揚々歸署したが、列車が驛頭に到着するや頭目姜は突然心臟痲痺を起し打倒れたので直に新京署に自動車で護送し同仁醫院主を招き應急手當を加へたが午後十一時遂に絶命した同署では他の犯人に對し八日から倉田司法主任が自ら取調を開始した

（寫眞は右から犯一人馮李白、後列は殊動の刑事諸氏）

愛國學生團の分列式 今日盛大に舉行

（東京七日發國通）一九三六年の日本の危機を若き血で護らんとする愛國學生團九千の分列式は七日午前十時より有馬海軍大將指揮の下に盛大に舉行された

河本警部補 逮捕狀況を語る

李崇田(三三)の自白で四平街に赴き美事頭目以下犯人を逮捕した殊動の河本警部補は語る

李ノ供述した劇場横手の支那パンヤを内偵したところ同家は既に三日前引拂ひ城内五馬路に潜伏城所を變へてゐることを突止め一隊は氣拔けの感があつたが直に城内五馬路を目指して歩を進めたところ平康里某料亭に馮が潜伏してゐるを發見逮捕し、引續き同犯人を手先に五馬路飲食店四合傳方に頭目姜、部下白の兩犯人を大格鬪の末逮捕したが姜の居宅(溫突)を襲つた際姜はよういに捕縛されず抵抗して來たが賊はかなはじと見て遂に兩手を差出したが自分等は多くの賊を逮捕したが姜の如き犯人は初めてであつた

騎馬匪賊團 發見され逃走開始

―農安街道騎馬匪賊後報―

既報農安、新京間溫家窩堡で匪賊討伐隊と交戰中の騎馬匪賊五十騎は農安から應援に向つた劉騎兵旅長軍が到着前七日夜遂次南方に後退を開始した、同旅軍はこれが討伐のため追擊中である、出動中の山崎指導官の情報によれば鐵嶺骨棚に宿營中の旅團は八日午前四時同地を出動南方小部落に宿營中の賊を發見しこれを包圍せんとしたが賊は早くも感知し西方に逃走した

海克線楊家屯にて 滿鐵警備隊匪賊に包圍さる

自動車運轉手一名戰死

（チチハル七日發國通）海克線楊家屯驛附近に於ける滿鐵警備隊と匪賊との衝突事件は詳細左の如し

海克線楊家屯驛附近に約百名の匪賊集團中との報道により五日午前十時中間で作業中の滿鐵通信班は急を報ずるとともに敵狀視察のため警備隊員八名は騎馬及自動車にて出發したるが道路惡しきため徒歩前進中部落土塀にかくれた匪賊は一齊射擊を爲したるを以て輕機關銃で應戰、交戰一時間半敵は多勢を以て我を包圍し衆寡敵せず自由行動をとり楊家屯驛に引あげた、自動車運轉手伊藤高見は遂に壯烈な戰死を遂げた、警備隊は各方面の增援を得て午後四時半再び討伐に出動した

明朝歩兵隊 ○○○名新京着

八日午前三時五十九分歩兵第○○○隊○○○○名來京同午後六時五十分發ハルビン方面へ、九日前十時五十五分發歩兵○○○名吉林線で某方面へ

街の日記

木炭のガスで 中毒死亡

市内常盤町二丁目滿鐵代用社宅第二號建築場苦力王、張の兩人は同社宅應接室十疊の間を密閉し木炭一貫目を焚き眠つたがガス中毒で死亡してゐるを同僚大工齊乃温(三四)が十一時ごろ歸宅發見し直に堀山福島兩醫師を招き應急手當を加へたが蘇生するにいたらなかつた、屆出により新京署員檢視の上死体は苦力頭に引渡した

大成旅館の 火事騷ぎ

市内大和通四十四番地大成旅館こと谷秀男氏方炊事場煙突から火が吹き出てゐるを附近の者が發見、それ火事だと早合點で消防隊に急報した、同隊では直に出動したが火災でなく引揚げた

兵士達へ大福餅 聯合婦人會の慰問

新京時局後援會では軍隊慰問のため九日午後六時から飛行隊に十六ミリを携へ慰問することとなり引續きその節にも出向くことゝなつてゐるが新京聯合婦人會では各兵士達の勞をねぎらふため特に大福餅を贈ることとし赤木夫人その他が同行してこれに當ることとなつた

國民精神作興 證書煥發 記念放送

新京放送局では來る十日國民精神作興詔書煥發十周年記念日には東商業學校長に依賴して記念放送をなすに決定した演題は「國民精神作興詔書ヲ拜シテ」で午後五時から三十分間に亙つての講演である

拾ひもの

▲市内敷島通滿鐵社宅第三號立川重幸氏は七日午後一時三十分ごろ滿鐵消費組合賣場で一圓九十錢を拾つた

落しもの

▲市内東二條通一番地清重タケさんは五日午前八時ごろ自宅から日本橋通四三科野洋行にゆく途中金側腕時計一個八型黒紐付時價二十圓を落した

▲大使館官邸憲兵詰所の畜犬セパード(頸環に關東廳)が六日午前八時三十分ごろ行方不明となつた

盜難

▲市内東二條通四十九番地石炭商藤田謹治氏方荷車一台時價三十圓中古を七日午後八時窃取された

人氣愈よ湧く 京の福太郎一座

今夜から長春座に開演

京阪演藝界の男女花形多數を率ひて、笑ひのキング京の福太郎が來京、愈よ今八日夜から三晩長春座で開演するが、座主京の福太郎は落語から萬歲へ、萬歲から漫劇へ進出し、遂に大衆娛樂の殿堂としての漫劇に新機軸を產んだ人氣男であるが、從來の萬歲や漫劇とは全く趣きを異にする嶄新奇拔なナンセンスの名番組みを携へて居り、渡滿第一に大連の興行では非常な歡迎を受け連日滿員の盛況を呈してゐたもの、一路新京をめざして乘込んで來て大に新京人を笑殺しやうと腕によりをかけての演出、大衆向きとして家族づれの觀覽にふさはしいとのことされてゐる、演藝種目は笑劇萬歲、劍劇、新舞踊、小唄舞踊、珍レビュー、京福會漫劇十種など幕合ひなしで續演觀客を退屈せしめぬと云ひ、入場料は大人一圓均一、軍人、學生半額、小人三十錢（寫眞は國定忠次に扮した京の福太郎）

移轉御挨拶

謹啓初冬の候各位愈御淸祥之段奉大賀候陳者弊店儀從來大和通りの一隅にて營業致し居候處大方各位の御引立を蒙り日に月に隆昌に赴き居候事是れ偏に各位の御厚情御愛顧の賜と深く感銘罷在候然るところ滿洲國建國以來首都新京の急激なる進展に伴ひ從來の店舖にては手狹の爲め何かと御便利に反き御愛顧に酬ひがたき事を痛感致し此度左記永樂町に新築移轉致し移轉と共に心機一轉改善を加へ全力を傾注して御期待に添ふべく決心致し候條舊に倍し御引立の程只管奉懇願候先づは謹んで移轉御挨拶申上候 百拜

追而大和通り舊店舖は支店として從前通り營業致し居り候

新京永樂町一丁目八番地（商店街）
食料百貨 三浦洋行本店
三浦忠夫
電話 二五六七 三〇〇四

南嶽師觀相

天下で名高い 東洋骨相學の泰斗 石龍子派 南嶽師來る

貴方の人相骨相を調べて前途を開拓せよ人間の運命は三代の機運が必ず招る、貴方の顏や頭を觀る先天後天に於ける轉禍

（今は無料）で福の道を講じ又事業の轉回仕事の結び方が詳しく解る、何故妻の緣が薄いか、夫に不運か、戀愛と結婚の成否、家庭の冷かは去りて何日頃から悅び來るか骨相を調べて身の上百般の煩悶を解決に急げ明日は遲い今すぐ尋ねて貴方の身の上に譽れ芽花を開かせよ貴方の成功する適業、目的、相場、家相病氣等と身の上百般に亙つて豫言するソレ今が貴方の奮起時一度試して妙に當る神の聲!!!

◎有志の懇望により止むなく日延べ斷行明日愈よ十一月十六日限

▲鑑定時間 自朝八時至夜六時
▲場所 吉野町五丁目
▲觀相二圓 愛國旅館

尋ね犬

牡 黑色ピンシエル 十ケ月、小型、耳長短あり、斷尾

お連れの者に薄謝を呈す

城内專賣公署 菅原

印刷機械及材料 各種印刷と製本
卸小賣 北原紙店
電話 三一四一 三四〇一

日本刀、軍刀

軍刀外裝、軍裝用品、研、白鞘、柄卷、附屬品

新京宮町小學校前
示視軒 井上刀劍店
電話三二〇三番

洋酒とカクテル お呑みに成る方が みどり 知らぬは モグリ とか謂ふ!

洋酒とカクテルの店
酒場 みどり
祝町二丁目（開花正門前）

美容

洋髮 美顏術 美爪術 化粧着附一般

大和通四九（三浦洋行二階）
大和化粧院
マリールウキーズ化粧院出身 河野光江

助手入用

當る八日より三日間每夕六時開演

全國人氣を完全に集めたる日本一大衆藝術娛樂の泉

京の撰拔演藝ストーリ花形美人連四十余名大舉出演

漫歲王

京の福太郎

長春座

入場料破格大衆料金ニ付キ絶對割引御斷リ致シマセン

大人 金一圓
軍人學生 金五十錢
小人 金三十錢

慶安異聞　艶魔地獄

（舞臺上演 映畫化）　玉水三郎

（繪）長谷川小信

（八十六）

肝腑りの耳（六）

柳原土手の、ズラリ列んだ古着屋の、せゝこましい中を一寸降りる所に、麥トロ『瓢』の釣行燈を掲げた小料理屋があつた。

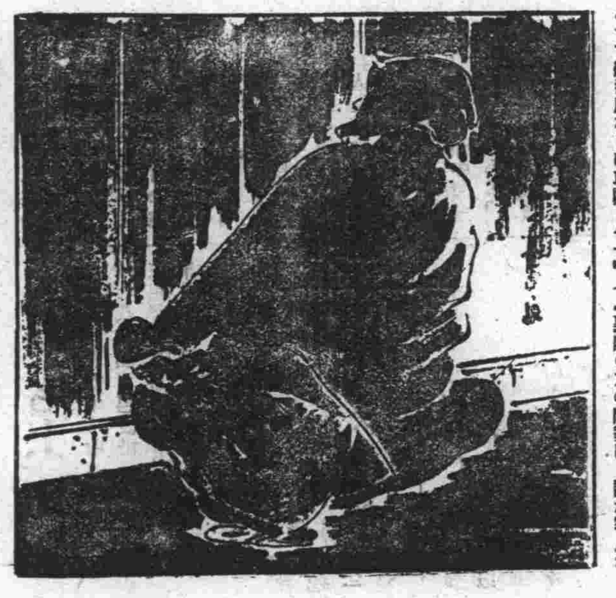
晝飯時を過ぎては客もなく、表の下座敷を占領してゐるのは、目明し燕の太吉であつた。

「ゆつくりやつて喫んな。此處の家は同じ茶漬屋でも、酒が良いので、肴がコッチリしてゐねえんと、江戸ッ子の口に合ふからな」

唐犬の兒分で、極新米の麻布の幸太と、碑文谷の安藏は、目明しに馳走になる事が、薄氣味惡いやうでもあり、又光榮でもあるやうに心得て、

「燕の親方、濟みませんね。こんなにお世話になつちやア」

「マア御遠慮なしに頂戴しやす」



もう五六本の銚子を倒したが、唯顔馴染といふだけだから、浮世話も盡きて了つた。

其の盡きるのを、太吉は待つてゐたのだ。

「何かお前達の部屋に面白い事はねえか」

「近頃はカラ形なしです」

「さうかも知れねえ。唐犬權兵衞は決して素人衆手の博奕は打たねえから、イ、掠鳥だの、イ、鳥なんてものは來めえから……」

「イ、エ親方、博奕許りぢやありやせん、人入れ稼業の方も不景氣でしてね。諸家様とも、人足出入りがねえので、イヤもうさつぱりでさア」

「さうだらうな。其處へ持つて來て、唐犬の交際は廣いからなア」

「散り錢が大きなもんでさア、毎日の事で……」

「一宿一飯の旅人も、ダンと來るだらうな」

「不景氣だけに、一張羅の旅鴉は來やせん」

「それに客分の絶えめえな、冷飯食ひと一緒に……」

「へイ、さう言はれる俺達も冷飯食ひの中だが……ウフッフ」

「イ、エ滅多に大貸元は見えやせんよ」

「ぢやア旅藝人や繪描き、劍術屋なんかの居候は、瘦せえ程來るだらう」

「エ、其奴は多がす」

「ナーニたつた一人」

「一人だと……」

太吉は思はず腕を拱いた。そして氣取られぬやうに、

「何時頃から居る」

「先月の末から」

「ナニ先月の末」

斯う言つた太吉は、意外の思ひをした。

「裏庭の方の離室に、誰か客人があるといふぢやねえか」

「エ、浪人です」

「何處の藩だ」

「そんな事は知りやせんが、自家の親分も大事にしてゐやさア」

「フーム、幾つ位の男だ」

「へイ見た事がねえから知りやせん」

「一人ぢやあるめえ。連れがあらう」

それ以上は聞いても言はず、又實際知つてゐぬらしい。

灯ともし頃まで、三人は酒盃に親しんだが、幸太と安藏は、ヘレケになつて了つた。

「親方、ア、一醉つた〳〵。飛んだ御馳走になりやして……」

「何れ御返禮を……」

燕の太吉は拂ひを濟ませて、ニコ〳〵顔。

「返禮なんて馬鹿な事いふな。もつと遊びに來いよ、二人とも……」

瓢を出た太吉は、二人に別れた時にはもう[illegible]が、唐犬權兵衞方の裏手に廻つてゐた。

（九星）

木曜　舊十月廿二日
已卯　九月廿九日
赤口
定
井宿

●一白の人　福運に恵まれども人のため散財も多かるべき日　乙と丙と寅が吉

●二黒の人　大吉盛運の日諸事進んで爲し遂げざることなし　甲と乙と庚が吉

●三碧の人　幸運も油斷の隙に逃げらるゝ日愼重を尙ぶ　庚と壬と寅か吉

●四綠の人　萬事圓成する日開店起業普請婚姻凡て良好　乙と丙と寅が吉

●五黄の人　喜怒哀樂並び至るの日盗難失物病災に注意　卯と乙と庚が吉

●六白の人　物事疑惑に包まれて自信を失ひ成り難き日　甲と未と庚が吉

●七赤の人　急進すれば半途に倒るゝ恐れあり漸進に吉　未と庚と辛が吉

●八白の人　願望成就すれども彼是と手出しは失敗の基　乙と卯と庚が吉

●九紫の人　遲々たる運氣も怠らざれば次第に伸び行く　壬と癸と寅が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×二三等船客設備船

（午前十時大連出帆）

×しあとる丸　十一月十日

亞米利加丸　十一月十二日

うらる丸　十一月十三日

はるぴん丸　十一月十四日

×たこま丸　十一月十五日

香港丸　十一月十六日

うすりい丸　十一月十八日

ばいかる丸　十一月廿日

●切符發賣所　滿鐵沿線キ要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

●專屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

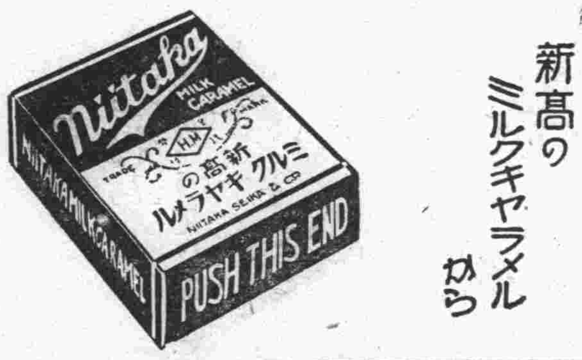
大阪商船株式會社

大連支店　電話四一三七番

奉天出張所電話四〇八九番

新京出張所電話二三二六番

新高ミルクキヤラメル



日滿親善は……新高のミルクキヤラメルから

お散歩に　お芝居に　映画に

新京日本橋通七三
郷田支店

新栗をこらしたおちつきあるお座敷!!

御料理　菊本

富士町三丁目
電話四九四三

診療科目

盲腸炎　痔疾　脫腸　骨疾患

淋巴腺炎　淋菌性諸疾患　梅毒性諸疾患

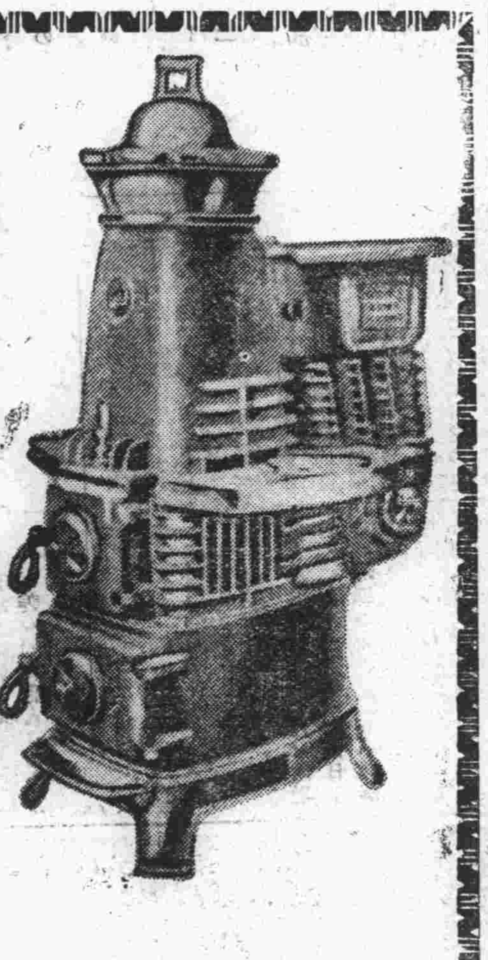
整形及一般外科

入院　隨意

大森醫院

梅ケ枝町十四番地
電話三四九三番

斯界之雄



國神ストーブ

特徴

一　燃燒室が二重になつて居るので完全燃燒され石炭の消費量は約二割節約されます

二　寫眞の通り二、三、四聯筒（三種）再燃燒器付ですから放熱面積は普通のものに比し約二倍あります

三　理論的通風と工作の叮寧に依り惡瓦斯の漏洩なく衛生的で然かも體裁極めて優美です

四　胴體一本鑄造で堅牢無比、耐久力の點は申分ありません

五　取扱、焚付共に極めて簡單です

三菱商事會社發賣

特約店

大連　滿鐵消費組合

同　山縣通　三宏洋行

同　連鎖街　大連洋行

同　西通　太田商店

旅順　五反田事務所

新京八島町　同和公司

同　石崎洋行

同日本橋通　泰利號

同　滿鐵消費組合

奉天紀伊町　堀内合名會社

奉天浪速通　山田商會

同　和昌號

同　滿鐵消費組合

四平街　共益公司

チチハル　共益公司

ハルビン　松島商店

安東　山泰洋行

營口　英茂洋行

錦州　大矢組支店

鏡臺と世帶道具が揃ひました!!

家具と敷物

新京日本橋通

品川洋行

うなぎ蒲燒ト丼

すし竹食堂

日本橋通　電話二七二四番

洋髪　美顔術　美爪術

フリージヤ美容室

常盤町一丁目八番地
中央通大阪屋號向横町

損害豫防機關

取引先信用調査
縁談先身元調査
各種企業調査
人事秘密探偵
經濟事情内報
貸借整理代行

秘密嚴守
料金低廉
十餘年前創業
全國各地聯絡

新京興信所

電話三三五〇番

知識眼科醫院

新京大和通六六

新京日日新聞

滿洲國の實情に則り 銀行法案成る
既設銀行の取締に特に留意 けふ愈よ公布する

豫て財政部に於て立案中であつた銀行法案は八日參議府會議を通過し銀行法施行細則及外國銀行の特例に關する財政部令と共に十一月九日付を以て

「公布」せらるることに決定した、本法の施行に依つて初めて吾滿洲國に銀行の取締監督に關する法律が施行せられるのであるが、從來吾滿洲國內に於ける銀行業は未だ其の發達充分ならず且つ舊政權時代に於ては一般銀行等の取締監督に關し何等の施設がなかつたため銀行の組織業務の內容は極めて區々に亘り居り、之等に對し遽に嚴重なる取締法令を以て臨むことは既存機關の活動を衰微せしめ却て金融の圓滑を害する虞があるので新銀行法では特に此點に留意し滿洲國の實情に則した

「取締」を行ひ以て民間銀行を指導誘掖して其の發達を助成するを旨とした、此の趣旨に依り日本の銀行法の如く銀行の組織及資本金を制限せず又他業の兼營も財政部總長の許可があれば爲し得ることとした尤も此の規定は主として既設の銀行の業務に急激な變動を與へぬ目的に出たものであるから、今後新設される銀行に對しては相當嚴重に取扱ふ方針である、銀行法の規定を受くる見込のものは現行在約六〇であつて內銀行と名の付くものは七十一他は儲蓄會錢莊等である尚滿洲に於ける主なる銀行は殆ど

「外國」銀行であるが之等に對しては特に預金者保護の立場から財政部總長は必要と認めた金額の供託を命ずることを得ることとする筈である、尚既設の銀行は大同三年六月末迄に許可の申請を財政部總長に提出せねばならぬこととなつてゐるが財政部では說明書の配付係官の派遣等により一般金融業者に銀行法を徹底せしめる樣手配を具へて居る

中銀貨幣發行高

中央銀行紙幣、鑄幣發行高、（自十月二十七日 至十一月二日）

△紙幣發行高 一一一、四五九、一三四圓五六
準備高 六三、一六九、八六六圓五七
保證高 四八、二八九、二六七圓九九
△鑄幣發行額 七八〇、六二二圓八六

銅版 凸版 北澤寫眞製版所 新京曙町四ノ九

蘇聯邦人續々 轉籍歸化を申出づ

最近滿洲里在住蘇聯邦人にして本國の國籍を離脫し滿洲國に歸化せんとするもの續出し

「最近」一ヶ月間に同地警察當局に其旨申上げたるもの三十五名に及び今後益々增加せんとする傾向にあるので滿洲國側ではこれが對策考究中であるが、其原因につき歸化希望者等の陳べるところによれば最近增加しつつある滿洲國への不正入國者等の談及本國にある近親者からの通信に依れば蘇聯國內の物資缺乏は想像以上であり、殊に政權把持者と一般人民との離隔確執日に甚だしく官憲の壓迫に依り悲慘なる境涯に追詰められつつある、一般人民の反政府熱極度に尖銳化しつつあり所詮蘇聯國人として

「自由」幸福なる生活を保持することは困難なるを以て王道主義滿洲國の人民たらんとするものであると

思ひ切つた 蘇聯邦の遣口
生活不能者放逐策

最近蘇聯邦人の不正入國者頻に激增しつつあるに鑑み國境警備當局に於て調査せるところ、蘇聯邦は昨冬以來國家經濟の基礎を確立する爲身体

「强健」にして共產主義を遵奉し國家に忠誠を誓ふものに限り自由好適に居住及旅行し且つ必要なる食糧の供與を得る證憑を支給し、然らざる者即ちソヴエートに忠實なりと認め難き者および老少又は不具者にして勞動力不足し國家に對し徒らに負擔を多からしめるが如き者に對しては絕体的に右特權を與へず勢ひ餓死するか國外に退去する外なからしめる政令を發布し、これを都市から漸次地方に施行しつつあるため先祖傳來の家鄕を逐はれ一片のパンを得る能はずして荒野に餓死するもの數知れず

「非道」極まる政府當局の暴戾を怨んで自殺するもの亦少なからず、滿洲國への不正入國亦此一現れである信ずべき推算に依れば東部シベリヤの國境接續地帶及沿海州一帶に於て右の政策實施に依り本年內に放逐される人民は數十萬に及ぶべく十月中單にチタを通過して西又は東に放逐されたもののみにても二萬人以上あると

朝香宮妃殿下薨去で 宮中喪仰出さる
御葬儀當日は廢朝

故朝香宮妃殿下の御葬儀は十一月十二日豐島ヶ岡に於いて行はせられ御葬儀當日は廢朝仰せ出さる、なほ十一月三日より一月三十一日に至る九十日間宮中喪（但し最初の二十日間を御一期とす）仰せ出され右全期間に亘り宮中においては一切の祝典は廢せらるることとなつた

滿洲國の銀行法
（上）公布された其內容

滿洲國では敎令第八十六號として銀行法を公布したがその內容は左の通りである

第一條 左記各號の一に該當する業務を營む者は其の名稱に拘らず總て之を銀行とす
一、預金の受入と金錢の貸付又は手形の割引とを併せ爲すこと
二、爲替取引を爲すこと
營業として預金の受入を爲す者は財政部總長の別に定むる場合を除くの外之を銀行と看做す

第二條 銀行業は財政部總長の許可を受くるに非ざれば之を營むことを得ず

第三條 銀行は保護預り其の他銀行業に附隨する業務を營む場合の外財政部總長の認可を受くるに非ざれば他の事業を營むことを得ず

第四條 銀行は左の場合に於ては財政部總長の認可を受くることを要す
一、商號を變更せむとするとき
二、資本金を變更せむとするとき
三、法人が其の組織を變更せむとするとき
四、支店其の他の營業所又は代理店を設置又は廢止せむとするとき
五、本店、支店其の他の營業所又は代理店の位置を變更せむとするとき
六、支店以外の營業所を支店に變更せむとするとき
七、銀行業を讓渡し、廢止又は法人が解散せむとするとき
八、他の銀行と合併を爲さむとするとき
九、法人組織の銀行に於て其の業務を執行する社員及監察人を定め又は之を變更せむとするとき

第五條 株式會社組織の銀行は拂込資本の總額に達する迄は營業年度毎に純益金の十分の一以上を積立つることを要す

第六條 銀行の營業年度は一箇年を超ゆることを得ず

第七條 銀行は營業年度毎に貸借對照表を公告し且營業報告書を財政部總長に提出することを要す

第八條 銀行の營業時間は午前九時より午後三時迄とす但し營業の都合に依り之を伸長し又は財政部總長の認可を得て之を短縮することを得

第九條 銀行の休日は節日、日曜日其の他銀行の營業所々在地に行はるる一般の休日に限る
銀行が天災其の他避くべからざる事變に因り臨時に休業するときは直に其の旨を公告し財政部總長に屆出づることを要す

第十條 銀行が預金の拂戾を停止するときは直に其の旨を公告し事由を具して財政部總長に屆出づべし

第十一條 財政部總長は何時にても銀行をして其の業務に關する報告を爲さしめ又は帳簿書類を提出せしむることを得

第十二條 財政部總長は何時にても部內の官吏に命じて銀行の業務及財產の狀況を檢查せしむることを得

滿洲國の稅收 非常に好調子
五年間に倍加せん

滿洲國の稅收狀況は國內產業の開發と治安の回復に伴ひ非常なる好成績を示し、元年度總歲入に於いて一億一千萬圓を算し

「豫算」額に比し一千四百萬圓の增收となり二年度に入つては僅か七、八、九、十月の四箇月間に專賣公署並びに吉黑榷運署利益金を除き二千七百七十七萬圓に上り豫算收入見込に對し五百萬圓の增收で本年度三千萬圓の增收可能と觀測されて居り、今後產業開發と徵稅機關の整備充實に伴ひ、滿洲國歲入の主要部たる租稅並びに專賣益金收入は人民の實質的負擔を增加することなく今後四箇年にして一億九千萬圓の國庫收納可能とされて居るが建國五箇年の

「短時」日中に歲入倍加を豫想されるは世界に類を見ざる處で、堅實なる滿洲國財政建設の進展を裏書するものである財政部の觀測に依る今後四箇年の豫想高は左の如し（單位千圓）

	△大同三年度收入豫想	△大同四年度豫想	△大同五年度豫想	△大同六年度豫想
關稅	四九、二一五	五三、六四四	五六、三二六	五七、四九三
鹽稅	二二、七七七	二三、五三八	二四、二九八	二五、〇五八
內國稅	四八、五四八	五七、八三四	六六、八六九	七四、七二九
專賣益金	二一、五九八	二六、六四七	三一、八四二	三三、三一六
雜收入	一、四九〇	一、四九〇	一、五三〇	一、九七〇
計	一四三、六二八	一六三、一五三	一八〇、八六二	一九一、二二三

極東平和確立の爲 ソ聯側の誠意を期待
日ソ開戰の危險は全然ない 五相會議で方針決定

〔東京八日發國通〕朝日の報道によれば、革命記念日にモロトフ氏が日本の一部が沿海州の占領計畫をなしてゐると演說したが、外務當局は五相會議の結果左の如き對露方針を遂行せんとする

一、ソ聯國体とは全然相容れぬが日本は特殊の國体で、日本赤化は見込みなき事はソヴィエート自身も最近氣付き第二次五ヶ年計畫完成に專念してゐる、而も共產黨員はソヴィエートの一部に過ぎず帝國政府は平和的にソヴィエートとの極東に於ける諸懸案を解決するの必要あり

一、白系露人を救護してシベリアに白系露人の國家建設を援助し極東に於けるソヴイエートの勢力を驅逐せよとの意見もある樣であるが白系露人が永久に日本と共同しソヴイエートに對抗するとは考へられぬ、白系露人巨頭ミルコフはソ國が日本に侵略される場合默視し得ずと最近言明して居り、實現不可能である

一、モロトフ氏の演說の如く赤軍は相當有力であるが之に代る軍隊なく、ソヴィエートが國外に出て戰爭するとは考へられず、故意に日本を毀けんとするのは對內的不滿を他に轉ぜんとする對內策からである

一、以上の如く日ソ戰爭の危機はなくソヴイエート側が誠意を示し北鐵交涉を促進せば極東兵備の主張は無用となり、帝國政府はソヴィエート當局の我が平和的外交方針を信じ現狀打開に誠意を期待する

對滿政策の不變を中外に
外務當局近く聲明

〔東京八日發國通〕廣田外相は北鐵會商案には直接關係なきため靜觀してゐたが外交團が種々憶說を逞うし門戶開放機會均等の原則も修正するものではないかと疑ひ居るので列國への影響を考慮し駐滿官憲の意向を聞くため昨日谷參事官の歸朝を要求した、谷參事官は十五、六日頃上京し外務當局と意見の交換をなし外務當局は對滿政策の變化なきことを聲明する筈である

在滿特務機關異動

今回土肥原少將の奉天特務機關長就任で滿洲に於ける特務機關に左の異動があつた

奉天特務機關長
二階堂大佐
承德特務機關長
承德特務機關長
松室大佐
チチハル特務機關長
チチハル特務機關長
儀我中佐
山海關特務機關長

治安警察法改正

滿洲國では敎令第八七號治安警察法中改正の件を九日公布した

大同元年敎令第八六號治安警察法中左の通改む

第四條 民政部總長は公事に關する結社に對し公共の安寧秩序を保持する爲必要ありと認めたるときは第一條の規定に依り許可を受くべきことを命ずることを得

前項の規定に依り許可を受くべきことを命ぜられたる結社に對しては本法中政事に關する結社に關する規定を準用す

附則

本令は公布の日より之を施行す

（理由）

治安警察法に依れば公事に關する結社は單に屆出を爲すを要するに止まる處同法實施後の經驗に徵するに公事に關する結社にして實際に於ては徒に政治運動に順じ或は公共の安寧秩序に重要なる關係を及ぼすべき行動に出ずる場合少からず、依りて民政部總長の行政處分に依り公事に關する結社に對し政事に關する結社に關する規定を準用することを得しむるの必要あり、是れ本改正案を提出する所以なり

豫算省議進捗

〔東京八日發國通〕七日大藏省豫算省議は前回に引續き商工省の殘りより審議を進め遞信省を終つて拓務省の一部に手をつけ、午後六時散會したが八日に拓務、大藏兩省の分を審議し九、十の兩日に陸軍の分を審議する豫定であつて十一日に計數整理を爲し十三日に臨時閣議を開催して第一回の豫算閣議に上程される模樣である

杏花村にも有料官舍新築
明春、起工に決定

滿洲國政府ではさきに新發屯に有料官舍六十四戶と二百余居室の大同自治會館を新築し官吏の住宅にあてたがその後各機關の人員は逐次增加し新京における住宅難は公私住宅とも急造されつゝあるにかゝはらずなほ緩和されず官營住宅の要望が各方面に起つてゐるため第二次有料官舍を杏花村附近に增築することになり愈よ明春起工九月竣工の豫定で目下各機關に對し希望を調查中である、新築官舍は甲乙丙の三種で甲號五十坪（建坪）一棟一戶建家賃百圓、乙號三十坪（建坪）一棟二戶建家賃五十五圓、丙號十五坪（建坪）アパート式二十七圓程度のものである

熱河財政工作進捗

熱河省財政工作は省內治安回復と共に順調に進捗し本年五月省財政廳を廢止して承德に稅務監督署及稅捐、赤峰に徵稅支署を設置し徵稅機關の整備を圖り租稅制度は一應從來のものを踏襲、地方の特殊事情を顧慮し禁煙特稅の輕減、蒙鹽稅の改正、海鹽重複課稅の撤廢、生活必需品の輸入稅を三分の二に輕減して湯玉麟の暴政並びに匪禍のため疲弊せる省民の救濟並びに福利增進に全力を傾注し來たが更に省內經濟界の梗塞を打開し民力の恢復振興を圖るべく目下財政部當局に於いて熱河省及興安公署の滯納租稅の免除を斷行すべく計畫、具体案作成を急いで居るがこの滯納租稅免除により熱河及興安西分省の經濟建設は一層促進さるべく期待されて居る

絕望の上原元帥
奇蹟的に生きかへる

〔東京八日午後五時十五分發國通〕一時息を引取つた上原元帥はカンフル注射の結果呼吸を吹きかへし奇蹟的に生き返つた

久原政吉氏葬儀

かねて腸チブスのため新京衛戍病院に入院加療中であつた關東軍司令部軍醫部雇員の久原政吉氏は藥石效なくついに六日午後三時同病院で逝去告別式は八日午後二時から祝町西本願寺で執行された氏は山口縣出身の獨身者で旅順から五年前轉勤した、享年二十八才前途有爲な氏の死は部內一般に惜まれてゐるなほ遺骨は次回の內地歸還遺骨と共に還するものである

蒙古人の警備軍
興安西部省に實現

かねて準備中の興安西部省警備軍は今回愈よ正式に成立し林西を中心に興安省分所の治安に任ずることになつたため張軍政部總長は各機關に對し通達した、因に同警備軍擔當區域は札魯特左翼同右翼旗阿魯科爾沁旗、巴林右翼同左翼旗及克什克騰旗の六旗よりなりこれが警備員は蒙古人があたることになつた

寒さにつれて漸く視察團も下火
十月はざつと千名

事變後殊に國內治安の維持確立後の今夏はとみに視察團の激增を來した新京でも秋冷近づいた十月になつてからいつしか下火となつた、前月に比較すると團体數において四十團、人員において千百七十一名の減少を見たが前年度同月とくらぶれば四團減少の百五十九名增加である その內譯は

	團体數	人員數
學生	一三	七七七
敎育	三	四〇
青年	一	二三
官縣團	一	―
其他	五	九二
計	二三	九三二

である

獨立守備隊
新配屬將校ら來滿

〔大連七日發國通〕新しく全滿各獨立守備隊に配屬された小畠、錦中、下野、瀧口各大尉、持濱、中村二中尉、金栗松東二少尉は七日「はいかる丸」で着滿した、下野大尉は語る

私と錦中大尉は郭松齡事件の際一ヶ月ばかり滿洲にゐましたが他は滿洲は初めてです何處の守備隊に配屬されるかまだはつきりしてゐません

今井看護長逝く

長らく肺結核を病み衛戍病院に入院加療中であつた新京衛戍病院今井三等看護長は八日午前六時死亡した、十日午後三時から商業學校で告別式が擧行される

天氣と氣温

けふの天氣南西の風晴一時曇 きのふの氣温 最高十一度、最低零下二度三

歯科 口腔科 早川醫院
錦町二丁目 電話三二九六番
診療時間 自午前九時 至午後五時 日曜祭日 午後休診

廣告の御用は 電話三三〇〇番へ

資本金 壹億圓全額拂込濟
積立金 壹億二千百二拾五萬圓
横濱正金銀行 新京支店
銀行代表電話 三、六二一
支配人舍宅 二、一一七
共同舍宅 二、六二二
營業部 二、三七〇
支配人代理 二、九六九
本店 横濱
支店及出張所 東京、丸之內、名古屋、大阪、神戶、下關、長崎、倫敦、巴里、漢堡、伯林、紐育、桑港、羅府、シャトル、布哇、リオデジャネイロ、シドニー、アレキサンドリヤ、孟買、カラチ、カルカッタ、蘭貢、新嘉坡、スウラバヤ、バタビヤ、スマラン、馬尼拉、香港、廣東、上海、青島、漢口、天津、北平、牛莊、大連、奉天、哈爾賓

灘（ナダ）の銘酒
灘の生一本芳醇な冷卸着荷醇良優等清酒の御用は品質第一の西村へ仰付け下さい
銘酒菊正宗 一升 三、〇〇
さはのつる 同 二、九〇
清酒白鶴 同 二、九〇
菊正宗 一升瓶詰 三、一〇
ハクツル 二リットル瓶詰 三、三〇
特約店 新京富士町二丁目 西村洋行 電話二二〇一番

廣告
一、撫順石炭
一、本溪湖石炭 滿鐵指定販賣
木材各種 西四馬路 泰山木局製材部 電話二二五六番
以上販賣致シマス
日本橋通六〇 泰山行 電話二二五六番

金物の御用は何でも揃ふ店
…取扱品目…
建材用金物 露式金物類
家具建具金物 大工道具一式
鐵工土農用具 和洋打及物
家庭用金物 ゴムホース類
度量衡名種 衛生陶器類
其他金物荒物一式
金物百物店 西脇洋行
三笠町二丁目（演藝館前）電話二二四〇

大連と安東を結ぶ 鐵路計畫進む
南滿の豐庫三角地帶開發に 兼井氏頻りに奔走

大連、安東間の最短徑路たる安東、金州を結ぶ新鐵路計畫促進の爲め來京奔走中の金福鐵路公司支配人兼井鴻臣氏は關東軍並に滿洲國交通部と折衝の結果、大體に於て諒解を得たので近く滿洲國政府の認可あり次第具体化をみることゝなつたが、同計畫は現在運行して居る金福線、金州城子トウ六十三哩を南岸線に沿ふて安東まで延長、大連、安東間連絡時間短縮を圖ると共に南滿の豐庫三角地帶の開發を行はんとするもので新計畫の安東、城子トウ間新設線は百二十哩、建設費一千萬圓を要する見込みであるが、新線開設をみたる曉には南滿の産業開發並に滿鮮間貿易の躍進が期待される

各方面とも非常な贊成だ
小磯參謀長と會見して 兼井鴻臣氏の談

既報、○○○○實現のため來京した金福鐵路公司支配人兼井鴻臣氏は八日午前十一時關東軍司令部に小磯參謀長を訪ひ諒解を求めるところあつたが、同參謀長と會見後左の如く語つた

唯今參謀長閣下にお目にかゝつたところ閣下も○○○延長には大贊成で民間の手で早くつくればよいとのお話であつた

『相當』好意を以て下さるやうなので自分としてはこの上ない歡びである、軍部をお訪ねして實に活氣横溢してゐるのには自分も一驚を喫した位で國民の一人として誠に心強く感じたものである、○○○については各方面とも非常な贊成で滿洲國建設當時とはすつかり空氣が變つて來たが將來の移民問題なども併せて考慮し、こゝに漸く光明を認めるに至つたともいふべく大使館で小川書記官にもお目にかゝつたが出來るだけ援助しやうとまた『材料』も送つてやらうといふ具合に萬事好調子でこの上は大年十一月に出願してゐる○○○○の認可を一日も早くして貰ふやうに、唯今から交通部に參るつもりである

白衣同胞と日滿提携の楔
堂本さんの名講演

朝鮮總督府新京出張所事務官堂本貞一氏は八日午前十一時五分から約四十分間に亘つて「在滿朝鮮同胞に就て」この『演題』で放送したその內容は大要左の如くである

九月九日から十月十三日まで關東軍主催で全滿各地朝鮮同胞を慰問した結果に基き

一、事變以來各方面から理解ある同情を得、餘力添へを得て感謝に耐へない

一、朝鮮は帝國に依頼する思想觀念が好轉して來た

一、鮮滿人の融和は案外良好である

一、滿洲國の現勢に對する認識が不充分である

一、在滿朝鮮同胞も大体安定して來た

其他朝鮮人は滿洲內人に比較すると半島國人であるだけに『島國』的な點があると同時に內地から見ると大陸的な氣分が多分にある、この中間性を大いに發揮して日滿提携の楔となつて欲しい

警察異動

新京署赤木警部補は八日付で總領事館警察署勤務となつた、後任は外勤監督ト部警部補と決定、又總領事館署末崎警部は同日付で新京署高等係勤務となつた

陳列窓破り 四平街で逮捕
元鹿島組の苦力

去る六日午前三時四十分頃四平街中央大街邦人雜貨商余宮商店の陳列窓を破壞して駱駝毛布一枚小供用毛布一枚計二點金三十七圓のものを、更らに殆んど同時刻前後に三角公園前の雜貨吳服京染店新考社支店の陳列窓をも破つて駱駝毛布一枚、コールテン乘馬ズボン一及同長ズボン一計三點價金二十九圓四十錢のものを竊取れ、四平街としては珍らしい事件が突發した、急報によつて四平街署で水も洩さぬ搜查網を張つて犯人嚴探中圖太くも犯人二名は午前四時五十分頃市內公順街二十五番地先を盜んだ毛布を肩にかけ其他のものを小脇に抱へて悠々と東進中を松井、武藤の兩巡査の爲めに發見され大格鬪の末逮捕された、犯人は本籍奉天省黑山縣生れ張面瑞(二七)及山東省安州縣生れ張桂林(三二)といひ當時何れも鹿島組工事場に働く苦力であつたが餘罪ある見込みで嚴重取調中である(四平街)

通行人を呼止める 二人の僞刑事
またもや一稼ぎの最中に 本物の刑事に捕る

僞刑事が市內を横行し通行中の滿人を脅迫し金品を强奪してゐるを探知した新京署では犯人搜查の結果七日午後十一時ごろ成松、岳、趙刑事隊が神町四丁目を密行中、擧動不審の滿人男二名が通行中の一滿人男を呼止めてゐるを發見有無を言はさず取押へ取調べたところ河北省生れ住所不定甄福貴(二五)同劉梅樵(二八)と判明した余罪多數に上る見込である

矢田公使近く來京

既報、滿洲國參議に擬せられてゐる矢田スイス公使は豫定よりおくれシベリア經由十三日新京に到着するが二日間滯京の豫定である

聖慮畏し― 在滿各部隊へ
侍從武官を御差遣

畏き邊りでは今回侍從武官騎兵大佐石田保秀氏を關東軍に遣はされ、聖旨を傳達且つ將兵一同に御下賜品を賜はる趣である、尙侍從武官は十八日新京に到着爾後奉天、湯崗子、錦州、承德、吉林、ハルビン、チチハル、洮南、大連、旅順、安東に在る部隊を親しく巡視される筈である

北滿の第一線將士へ
乙女心をこめた慰問狀を

新京高等女學校では全生徒が北滿の第一線に働く將士へ慰問の手紙を出すべく放課後裁縫室に集つて手紙を書くもの、マスコツトやシオリの手藝品を造るので懸命だ、この乙女心をこめた手紙が將士の手に渡つた時の嬉しさは！(寫眞は慰問品を造る生徒達)

大新京を語る (五)
國都大新京と都市計畫
國都建設局長 阮振鐸氏

土地の拂下げ

拂下の方法は一般競爭入札や指名競爭入札や定價で希望者に抽籤させることや、利用目的によりましては定價で特定者に指定して拂下げたりしますが總て豫め廣告致しますから御希望者は注意して居て戴き度い次第であります、尙國都建設局土地建造物賣却及貸下規則が政府公報に出て居りますから見て下さる樣希望致します、また當局へ御出でを願ひますれば詳細御說明致します

價格は商店街で三、三平方米(一坪)銀の二十圓位、住宅地で三、三平方米(一坪)八圓位に見て居ります、此の價格は大體建設諸經費の割當であります、私共は之に依つて五ケ年間の總支出即上地買收費、移轉補償費、道路橋梁費、上下水道費、公園其の他の公共施設費等にあてたいと思ひます、大體此の價格で賣れなければ廣く開放することをせずに施設範圍と拂下げた土地の地價を手控えることゝし、これに依つて施設費をも節約し民間に拂下げた土地の地價をも保持して行かうと思うて居ります

各地の地價に參照してみましても考慮して見ても此の拂下地域が直ちに相當繁榮の市街となることは勿論であります、將來人口五十萬になりましても、百萬になりましても本當の中心市街であります、例へば卵の黃味とも言ふべき場所でありますから右に述べた値段は無理ではないと思つて居るのであります現にこれ迄拂下げた商店街及住宅地などは此の値段でどしどし買つて貰つて居りますし、尙新京の附屬地の市街の土地などは借地權利ですら驚くほど高い値段に賣つて居るのであります、尤も何商賣でも以前の十倍位儲かると云ふ話であります

私共の拂下土地一筆は小賣店街で約三六〇平方米(百十坪)七七〇平方米(二百三十三坪)八七〇平方米(二百六十五坪)と云ふ風に別れて居ります、之を狹いといふ方は何程でも合せて拂下げを受け利用し得られます、そして敷地に對する建築面積は商店街で三割以上七割以內、住宅地で一割以上四割以內と言ふ風に普通の町とは多少逆に行つて居ります、これによると建築に多くの費用をかけなくとも濟むことゝなりますし、又衞生都市の實現から斯くしたのであります、建築は拂下げ後大體二ケ年間に完成せしむることに考へて居ります、尙凡その位置や利用目的の種類等から考へまして差支へなきものは將來利用の期限を附して假建築をも許可する方針で進めて居ります(終)

拳銃强盜一味
頭目の死体は昨日滿洲國へ これで市民も安心

既報、新京署員の手に逮捕された新京附屬地內外荒しの拳銃强盜頭目姜子禮(二七)の死体は新京署並に『滿洲』國新京檢查官も檢證の結果當滿洲國に引渡したが犯人は昨年七月ごろから吉林省德惠縣下並に張庭樹附近を根據にし匪賊頭目海龍と包福巧の賊團に加入し海龍以下一味の者と共謀し德惠縣下で十數回に亘つて掠奪および人質を拉致し、同年十月匪首海龍の賊團は匪首長江及公平等と共に滿洲國に歸順したため『不逞』の徒二十名を糾合し、新京城內東二道街の滿人某宅を根城に構へ拳銃强盜團を組織し、部下を五班に別け昨年十二月末から本年にかけ附屬地並に城內各所に連夜出沒し市民を脅かしてゐたものである

清水燒の直接配給
會員組織で極安に買はれる

陶器類の高價を嘆ずる新京に今度中央通り滿鮮ビル內に事務所を置く千勝洋行で高級清水燒各種容用高尙の陶器五人前一組を一口として「淸陶會」と稱する最も平易な會員募集による販賣を開始した、申込は雪、月、花組の三組に別れ毎月二圓五十錢乃至五圓の掛金を以て現品配給を受けながら數十圓の高級清水燒容器具一切が揃ふ筈で産地より廉價を以て直接配給する事とて早くも好評申込殺到の有樣である

兒玉博士は起訴猶豫か

〔大連八日發國通〕情痴と怪奇の兒玉博士邸事件の高井檢察官の取調べ一段落し出所中の兒玉博士及び拘留中の勝美夫人、中園秀雄の期限も九日を以て滿了となるので下田檢察官長は八日午後二時大連地方法院に登廳、高井檢察官より犯罪事實に就ての報告をうけ司法處分を協議して起訴手續をとることゝなつたが、兒玉博士が起訴されるか否かは非常な興味を以て見られ博士が犯した死体隱匿、證據イン滅の罪は極めて消極的な意思の下になされ且博士が著名な學者であり全國病理學者より減刑嘆願も考慮されて或は起訴猶豫となるのではないかと觀られてゐる

步兵隊の出發

九日午前[illegible]着列車で步兵第○○○聯隊新京着同日午後[illegible]○○○へ、同じく九日午前十時五十九分發○○○方面へ出動する

向陽ホテル堂々新築完成
茶代廢止と自動車の送迎で 思切つた奉仕振り

屋根裏迄も住むと言ふ新京も序々に旅館增築され續いて大規模の太陽ホテル、向陽ホテル等近頃開業し拂底の宿舍も此程大に緩和され來た、今度大和通に落成開業した向陽ホテルは本年六月起工し工費十萬五千圓、三階建延坪四百五十坪と言ふ大建物であり杉本彈次氏經營の衝に當つて居るが客室二十五各室電話設備あり、出入は自家用自動車で送迎茶代廢止と言ふサービス振りであり目下大和ホテルに次ぐ總てに完備を得て評判よく前途頗る期待せられてゐる

新鐵道事務所長着任決定
青木氏の挨拶

青木新京鐵道事務所長の鐵道部附に榮轉したことは既報の通りであるが後任の鐵道部總務課技師芳賀千代太氏は十三日着任と決定、同日新舊所長事務引繼ぎ後兩氏の挨拶廻りをなし同夜關係者百人を招待して離任、着任の挨拶をなす豫定である、なほ青木所長は八日午後三時から鐵道事務所會議室に事務所員約八十名を集め一場の挨拶があつた

金融　俸給者特に低利貸付　信用歡迎
新京入船町二丁目
電話四七九六番
三光社

居住消息

▲池部素直氏(大分縣人請負業)安東から石碑嶺炭坑附屬地南嶺外地へ

▲高田直木氏(京都人軍政部勤務)大和通り一番地川田方へ

▲日高清氏(鹿兒島縣人滿洲官吏)營口から大和通り一番地昭和下宿屋へ

▲後藤數和吉氏(宮崎縣人)大和通の七番地へ

▲眞鍋十代助氏(愛媛縣人巡査)關東廳新京出張所へ

▲中川茂生氏(福岡縣人)吉野町一丁目九番地へ

▲志手勝磨氏(大分縣人番頭)三笠町二丁目八番地相原方へ

▲上田良有氏(神奈川縣人)天津から中央通り十五番地へ

▲中島時雄氏(東京人)中央通り十五番地石井方へ

▲福澤久六氏(愛知縣人滿電社員)大連から中央通り十五番地へ

▲小野稍次氏(佐賀縣人滿洲國官吏)旅順から入船町四丁目十五番地へ

轉居

▲寺脇輻右衞門氏(鹿兒島縣人東亞産業協會)入船町一丁目五番地へ

▲木村唯眞氏(福岡縣人)大和通り九十九番地新京館へ

▲平野一氏(宮城縣人驛員)公主嶺から和泉町一丁目七番地ノ二へ

▲中田寬二郎氏(廣島縣人)富士町三丁目十番地清水方へ

▲森山鶴男氏(長崎縣人滿鐵社員)大連から敷島寮八十四號へ

▲杉山勇三氏(大阪府人社員)老松町一丁目三番地へ

▲平田九郎氏曙町四丁目六番地から東二條通り四十七番地へ

▲高宮四郎氏日本橋通り九十二番地中央寮から奉天城內滿洲中央銀行奉天分行へ

▲長島重治郎氏日本橋通り八十一番地から横濱へ

▲稻垣兵治氏三笠町三丁目十六番地から老松町十二番地へ

▲福田勝義氏祝町一丁目二番地郵便局官舍から中央通り二十六番地二中央電報局獨身宿舍へ

▲下川豐太氏蓬萊町一丁目二川井方から同上

▲外山平氏同上

▲岩本八郎氏入船町二丁目二十八番地から同上

出生

▲日本橋通り十九番地田島伊佐美氏庶子秀明さん二十日

死亡

▲日本橋通り十七番地高瀨安子さん六日午後一時死亡

野菜相場

十一月九日

品名	單位	單價
葱	百匁	[illegible]
ワサビ	同	[illegible]
ウド	同	[illegible]
蕪	同	[illegible]
牛蒡	同	[illegible]
人參	同	[illegible]
白菜	同	[illegible]
蓮根	同	[illegible]
クワイ	同	[illegible]
水菜	同	[illegible]
玉菜	同	[illegible]
タカナ	同	[illegible]
シヤクシ菜	同	[illegible]
菜	同	[illegible]
ホーレンソウ	同	[illegible]
サンダウ	同	[illegible]
フダンソウ	同	[illegible]
玉葱	同	[illegible]
馬鈴薯	同	[illegible]
里芋	同	[illegible]
山芋	同	[illegible]
サツマ芋	同	[illegible]
大根	同	[illegible]
赤大根	同	[illegible]
フキ	同	[illegible]
シヨウガ	十把	[illegible]
ミヨウガ	一把	[illegible]
松茸內地	百匁	[illegible]
カボチヤ	同	[illegible]
冬瓜	同	[illegible]
キウリ	同	[illegible]
セリ	一把	[illegible]
ミツバ	同	[illegible]
パセリ	同	[illegible]
リンゴ上	百匁	[illegible]
同中	同	[illegible]
同上	同	[illegible]

十日開業
新築、淸楚、閑靜にして便利
驛ヨリ五丁、各室電話設備完全にして落着あり
向陽ホテル
新京大和通り七二ノ七五
電話三八八二番

陶器類
―の高價な新京へ
京都から清水燒の高尙な食器を直接配布する淸陶會が參りました………!!
一、優美な揃模樣にて會席用各食器を毎月一組(五客分)宛配布致します
二、會費は此品がと思召す位廉價です代金は毎月品物引換に戴くことにして居ります
御入會の好機
型錄・現品見本は御通知次第持參御伺ひ致します
新京中央通郵便局前 滿鮮ビル二階
千勝洋行內
電話三四〇五呼出

東亞ホテル近日開業
東亞ホテル愈々近日開業の運となりました開店の上は附屬グリルの設備もありサービス本位を以て皆樣のホテルとして御引立御愛顧の程偏に御願申上ます
新京朝日通八一朝日ビルデイング(領事館前通)
東亞ホテル
南薰
電話四九二七番
貸店舗(住宅附)數戸あり水道瓦斯風呂及煖房の設備あり御希望の方は至急東亞ホテル事務所へ御申込を乞ふ

尋ね犬
黑色ピンシエル牡十ケ月、小型、耳長短あり、斷尾
右連行者に薄謝を呈す
城內專賣公署
菅原
電四三八四番

やけどの秘藥
御來診の方にのみ治療致します
新京吉野町一丁目十一番地
醫師 堂脇サト

広告と図案の話（三）

鳳三堂主人

商店の賣出廣告は、多く時期的に行はれる關係上その季節の表徴を巧みに應用し先づ讀者をして眼を惹かしめなければならぬ

日本の地にあつては夏冬の終りが永く初秋だの、中秋だの初夏だの、盛夏だのと移りかわりが永い從つて圖案も多樣に考案されて繁雑であるがこの新京では夏から秋へ、と云ふよりは冬への階段が甚だ急速で、この點まことにはつきりとしてゐて樂のやうである

文章の多いもの即ち商品名の掲示を必要とする場合は輪廓にして挿繪圖案を少なくするか或は輪廓のみにする

文句は出來るだけ少なく、くだけた肩のこらないものを撰ぶこと、流行色を表現するのは良い。同じ流行でも無暗に流行語などを使ふのは氣障で良くない、政治用語や甚だしく時代を論じたり他を誹謗したもの等は忘れても愼むこと、

組み方も讀み良くすることが肝要である、次ぎに文字であるがモダーンな圖柄に不釣り合ひな隷書体などは丁度西洋間に茶筆を配置したやうでおかしい、この内でも尋坂流などは圖柄に關せず應用が出來る、六朝体も新味があつて一寸場合に依つては面白い、然しモダーンな圖案に圖案文字が時代の流行とは言へ古典的な商賣や商品には幾分の新味を加へたものでなくてはいけない、芝居の限取りを輪郭やカツトにした時勘亭流の文字體を書いて演藝を現すやうに、圖案文字體の種類は際限のない位である、專門家の書いたと云ふものに情けないのがよくある

文字には一定の方則があつて只單に圖案化してさへあればではいけない、飯櫃と便所を一しよにした文字體や極端に珍しがつた變體的なものは却つて滑稽を感じ、其の廣告の品位に影響する

一般的に多く使用される活字體や、ゴヂツク體を引用して適度に圖案化したものが倚麗でドツチリと落ちつきがあつて一番見よい、圖柄の多少間違てゐても繪空事と云つてある程度の辛棒が出來る、たとへば人體の兩手兩足目鼻口と云ふのは一つの圖案であつて文字は一番大切な心臟部に當る、事程左樣に文字は生命であつて活動的なものである、

現時各商店員の方々は廣告に宣傳に、販賣に、と云ふやうに研究進歩して、中には相當器用な人もあつて版下から文案一切を立案されるのがある誠に結講で喜ばしい事と思ふなまかじりさあるが、今一歩進んで製版や印刷物の工程迄少しでも研究して應用されたならば、徒らに製版者や印刷業者を泣かせる事がなくなると思ふ

讀者の眼が進んで來てヂヂむさい原稿に依つて出來た廣告

大ケ敷い

昨今首部新京も稍諸印刷物の機關も整つて來たが、就中最も恒久性に富む商品用紙器印刷機關が備へられないのが一沫の寂莫を痛感させられる、

次ぎには引續き、ポスター、ショウヰンドウに就て語りたい

京の福太郎一座の 花形松川家米枝 小唄舞踊の名人

笑ひのキング京の福太郎一行は八日午後一時五十五分着列車で華々しく乘込んで來て同夜を初日に長春座で開演したが何しろ大連の興行で好評大入滿員をつゞけたのが傳へられてゐるので俄然前人氣沸騰し入場料が大連と同値の大勉強大人一圓均一、軍人學生半額、小人三十錢と云ふ破格なので團体觀覽の申込みが殺到し初日、開演前から大入滿員の兆があつた、午後六時の開演約束れ幕台なしで漫劇、萬才、劍劇、珍レビュー、小唄舞踊その他を見せると（寫眞は一座の花形の一人松川家米枝孃）

滿洲醫大の學術講演公開

いよ〳〵明夜正六時から 新京高女講堂で

滿洲醫科大學學術講演會は既報の通りいよ〳〵明十日午後正六時から新京高等女學校講堂で開催、九時終了の豫定だが演題その他は左の通りで入場無料、多數一般の參會を希望すると

一、開會の辭　大學長醫學博士　稻葉逸好

二、滿洲の地方病殊に寄生蟲病（幻燈供覽）　教授醫學博士　稗田憲太郎

先づ滿洲に見らるゝ種々の地方病を説明し、重要なる寄生蟲病の分布、殊に「滿洲赤痢」とさへ言はるゝ「アミーバ赤痢」に就て其研究の大要を述べ、次で此等の撲滅策に言及する、而してかゝる地方病、傳染病の多い點では滿洲國は他に例の少ない國であり、之を撲滅して滿洲を健康上の樂土たらしめるは日滿兩國醫事關係者に與へられたる重大使命なる事を歐米諸國民の殖民と地方病征服の歴史をひいて力説す

三、阿片の話（活動寫眞供覽）教授醫學博士　久保田晴光

先づ世界に於ける阿片の起源阿片の支那渡來等に就て略述し、次で阿片の化學、藥理、並に其慢性中毒の害毒及び患者の治療法等を説明し、結論として國民は阿片並に他の魔藥類に對する認識を明確にし、斷なる患者の發生防止と現存百萬の患者救療とに努力することの急務を説く

四、我國民の滿蒙移民と風土適合問題（活動寫眞供覽）　教授醫學博士　三浦運一

我國民の滿蒙移民に關する諸問題中、移民をして如何に滿蒙の風土に適應せる衣食住を營ましめ、其健康を保持せしむるかは移民の成否を決すべき根本問題である、演者は我國民の狀勢より見て本問題の重大なる所以を説き之に關する研究を略述し、將來の方策に就て私見を述べる

秋から冬の 指環と腕時計
森洋行
新京中央通四八
電話三八七三番
輸入組合加盟店

海外だより

□非難のモダン教會堂　獨乙に於て建築設計家として斯界の名聲をほしいまゝにしてゐる例のホエールゲル博士は獨乙には未だ嘗て顔も見せし……此の程竣工したが餘り新味タップリの建築樣式である爲めルーチルの間にはハイカラ過ぎると非難を受けてゐる

□虎の珍らしい檻內繁殖　英國有數の動物園なるホイップスネード動物園飼育の若い猛虎が此の程初産し可愛らしい三頭の赤ん坊虎を生んだが近く親子揃つて一般觀覽者にお目見得することゝなり目下新造の檻を建築中である　尙虎の檻內繁殖は珍らしいので入場者も相當に上るであらうと。

□不變紙と不變インク　米國政府では公文書を永久に保存する爲め一度インクで文書が書かれるや何年經つてもインクが消えず且つ紙質も不變の理想的保存法を研究中であるが是れが出來上ると恐らく全世界に文獻保存上一エポツクを劃するであらうと評されてゐる

□嶄新な航空撮影機　佛國航空當局では航空機「全の競爭」に正常なる勝敗の判定を下すため予て撮影機を考案中であつたが此の程完成した即ち該撮影機は從來の十六より活動寫眞機の百二十五分の一の速力を有するものでこれは獨り判定用のみならず軍事用として偉大な貢獻を有するものと見られてゐる

ラジオ

九日（木曜日）新京

午後五時〇分　子供の時間　不思議な指紋のお話　松下繁一
同　五時三〇分　ニュース（英語）
同　五時四〇分　ニュース（露語）
同　五時五〇分　ニュース（鮮語）
同　六時〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　語學講座（滿洲語）　講師　宮崎逸
同　六時四〇分　語學講座（日本語）　講師　植松金枝
同　七時〇分　演藝（滿洲語）
同　七時三〇分　講演（滿洲語）
同　八時〇分　ニュース（滿洲語）　氣象豫報、番組豫告
同　八時三〇分　時報（東京より）
同　八時三一分　ニュース（東京より）
同　八時四五分　ニュース　氣象豫報
同　九時〇分　演藝　清元明烏夢泡雪　清元延寅子社中
引續き明日のプログラム豫告

鮮魚小賣相場

活鯛	七五	氷鯛	四七
チヌ鯛	四五	甘鯛	五五
小鯛	六一	鰆	一、〇〇
カツオ	四七	二ベ	四〇
ブリ	三五	ヒラス	四二
サバ	二五	カレイ	一六
ヒラメ	三〇	ボラ	三〇
コチ	二三	コノシロ	二三
キス	四五	ハゲ	四二
オコゼ	二六	サヨリ	六五
タコ	三二	イヒダコ	二六
甲イカ	五二	水イカ	五〇
イセエビ	一、一〇	車エビ	一、〇〇
アナゴ	三〇	ナマコ	二五
アワビ	六〇	カキ	五〇
シジミ	一〇	カマボコ	二〇
早カレ	二二	水ダコ	一三
ネパ	三八	赤貝	一七
バレン	四五		

登録商標
乳菓 森永ベルツト
美味 滋養

富士屋タクシーの發展
一、今度將又一九三三年型最新式の自動車を數台増車致しました
一、運轉手は日本內地人ばかりで御座います
一、何卒電話四九四九・二〇九七番へ御下命下さい
昭和八年十一月九日
富士屋タクシー
電話四九四九。二〇九七番

御得意樣
ガソリン販賣廣告
一ガロン　金壹圓十錢也
昭和八年十一月九日
富士屋ガソリン販賣部
電話四九四九。二〇九七番

轉移成落築新
業務擴張開院
トラホーム根治療法
眼科整形外科
眼鏡檢定
驅黴療法
其他眼科一般
診療時間
△午前七時ヨリ
△午後六時マデ
日曜祭日ハ午前中
急看ハ此ノ限ニ非ズ
隨意入院
知識眼科醫院
醫學士　知識吉彦
移轉先　新京大和通り六六番地　金光教會所前

花も實もある……朗らかなホール！
▲美人揃ひのウエータ連のサービス振りを御覽下さい▼
三笠町二丁目
カフエーライオン
電話二三七九番

額と繪
尚御用命に依り適當の額縁御調製致します。
品八洋行
TEL 3062 2593
和洋皮具・室内装飾
世帯道具・建築材料
新京和樓通

御料理
花開
電話二三一六。二一〇三番

眼鏡一式
特約店募集
（カタログ進呈 郵券二錢要す）
大阪市東成區林寺町生野中學校前
市川セルロイド工業所
電話天王寺(77)六二六番
振替大阪七四二九五番

御料理
八千代館
長春吉野町
電話三〇四六・三九七番

瑞西高級時計
ドルミー

今ぞ 爽涼の秋
蓄音器に親しむ滿洲の初冬
コロンビヤ手提蓄音器　¥35……¥50……¥75……
コロンビヤテーブル用　¥45……¥60……¥80……
ビクター手提蓄音器　¥50……
ライラツク蓄音器　¥38……均一
マグナホニツク號蓄音器　¥30……¥38……¥45……
イスズ手提蓄音器　¥30……¥38……
多量荷着して居ります!! 新譜は他店より一週間早く發賣します
夜の團欒に是非蓄音器を！
中古レコード高價買入れます
日本橋通　新京百貨店　電話三一六一番

海陸運輸
建築材料運搬
引越荷物
井本運送店支店
新京祝町二丁目
電話三八四三番
本店　奉天宮島町
電話二七八一番

大昭公司電氣部
內外線電氣工事並ニ動力据付
各種電燈取付工事請負
新京中央通リ十三番地
電話三三五〇番
關東軍電氣指定商會
滿洲國電氣指定商會
滿電會社指定商會

毎度御引立の程
御禮申上ます
毛皮類の製品が充滿して居ります
編物の御婦人服は弊店獨得の型で大評判です
裁縫部は期日確實で老練の職工が澤山居ります
他に其の類を見ざる高級の毛皮があります
ボックス皮の洋服は即座に大量品が揃ひます
どうぞ大利公司を御利用願ひます
新京日本橋通二九
毛皮敷
男女既製服
洋品雜貨
裁縫部
大利公司

滿洲讀者優待　三省堂・同文館・四六書院

名著短期大特賣

十一月一日より十一月末日まで

見よ！この偉容！この壯擧！

全讀者諸氏に告ぐ!!

我が圖書出版界に於ては今秋十一月を期して圖書祭を催し、文化の進運に聊かなりとも寄與する所あらんとしてゐる。惟ふにこれ非常時に際して寔に有意義なる企である事は信じて疑はざる所である。此の秋に當り三省堂、同文館、四六書院の三出版書肆は率先合同し、玆に之に先立つて名著の大特賣を敢行するは偏に平素御支援を戴く讀者各位に對する報恩の一端に外ならない。下段列記の圖書は孰れも名著として内地に好評を博せしものを月末までのもの、十一月一短期間、半價又はそれ以下の特價を以て提供し、〆切期限以後は絕對に原定價に復するものである。乞ふ、二百數十點の中より必ず數種以上の良書を選びて貴下の書架に加へられん事を!!

好機再び來らず！

各地有名書店にあり

即刻實物御覽の上御求め下さい!!

◎三省堂發行◎

（書名　著譯者　定價　特價）

辭書
- 三省堂英和大辭典　三省堂編輯所編　三·五〇　二·五〇
- 新コンサイス英和辭典 大型版　〃　二·五〇　一·八〇
- 模範國漢文辭典　〃　一·五〇　·七五
- 常用漢字の字引　〃　·五〇　·二五

法律
- 學生用六法 憲法　三省堂編輯所編　·五〇　·一〇
- 〃 民法（總則物權債權）　〃　·五〇　·一〇
- 〃 民法（親族相續）　〃　·五〇　·一〇
- 〃 商法　〃　·五〇　·一〇
- 〃 刑法　〃　·三五　·一〇
- 〃 民事訴訟法　〃　·八〇　·一〇
- 〃 刑事訴訟法　〃　·五〇　·一〇
- 會社法要論　上間運吉著　三·八〇　一·六五
- 株主の權利と義務　〃　一·五〇　·七五
- 株主總會論　〃　三·八〇　一·四〇
- 破産豫防 和議の話　〃　·五〇　·二五
- 工場災害扶助論（工場扶助法令解說）　矢野兼三著　一·八〇　·九〇

宗教・哲學・社會
- 社會倫理學概說　杉森孝次郎著　二·〇〇　一·〇〇
- 皇道の大旆を翻へす　曾根朝起著　·三五　·一三
- 佛教聖典　南條文雄・前田慧雲著　二·三〇　一·一五

教育
- 誤解せられ易き漢文特殊語法の研究　諸橋轍次校閲 西村司俊著　二·〇〇　一·〇〇
- 尋常小學算術の指導と論理（第五學年用）　郡司宗雄・高橋久五郎著　·九〇　·四五
- 〃（第六學年用）　〃　·九〇　·四五
- 高等小學新算術書指導の實際　湯川征吉・橋本重次郎著　一·八〇　·九〇
- 圖畫の鑑賞教育　小堺宇市著　二·三〇　一·一五
- 粘土細工と趣味の製陶　黒川粂次郎著　二·〇〇　一·〇〇
- 女學校を卒へて　小山文太郎著　一·二〇　·六〇
- 小學校に於ける職業指導の實際　下川兵次郎著　一·五〇　·七五
- 小學校職業指導教材解說　東京市職業指導研究會編　四·〇〇　二·〇〇

地理・歴史・傳記
- 蒙古を新らしく觀る　石塚忠著　·五〇　·二五
- 支那外交通史　鹽田文三著　三·〇〇　一·五〇
- 巨人を語る　清澤冽著　一·二〇　·六〇
- 法然　中里介山著　一·五〇　·七五
- フォード　清澤冽著　一·五〇　·七五
- ハイネ　高橋健二著　一·五〇　·七五
- トルストイ　昇曙夢著　一·五〇　·七五
- ペートル　米川正夫著　一·五〇　·七五

隨筆・文藝
- 遺稿 隨感錄　濱口雄幸著　一·〇〇　·三五
- ロシヤ文學思潮　米川正夫著　二·〇〇　一·〇〇
- ブレイク論稿　山宮允著　三·五〇　一·六五
- 藝術學汎論　島村民藏著　二·〇〇　一·〇〇
- 紙魚文學　山口剛著　二·三〇　一·一五
- 歐羅巴文學研究 浪漫思潮發生的研究　早大歐羅巴文學研究會編　一·八〇　·九〇
- 〃 浪漫思潮現象的研究　〃　二·四〇　一·二〇
- 〃 現實主義理論的研究　〃　一·五〇　·七五
- 〃 現實主義事相的研究　〃　一·六〇　·八〇
- 現代英國文藝印象記　宮島新三郎著　一·六〇　·八〇
- 鳥　内田清之助・金井紫雲著　二·五〇　一·二五

運動
- スポーツを語る　鳩山一郎著　·五〇　·二五
- スポーツ叢書 私の野球　腰本壽著　二·〇〇　（二冊一組 一·五〇）
- 野球 監督の心裏　岡田源三郎著　一·三〇
- 早慶野球戰史　廣瀨謙三著　一·〇〇　·五〇
- 練習と競走 百米十五年　谷三三五著　一·二〇　·六〇
- 戰ふまで　人見絹枝著　一·〇〇　·五〇

音樂

新鐵道唱歌　鐵道省編
- 第一輯 東海道線　·八
- 第二輯 山陽線付四國めぐり　·八
- 第三輯 九州線　·八
- 第四輯 東北、常磐線、房總めぐり　·八
- 第五輯 高崎、信越、中央線　·八
- 第六輯 北陸、信越、羽越線　·八
- 第七輯 山陰線　·八
- 第八輯 關西線　·八
- 第九輯 奥羽線　·八
- 第十輯 北海道線　·八

（十冊一組 ·二〇）

三省堂常識講座クロバー文庫（定價 ·三〇　特價 ·一〇）
- 染織物の常識　西田博太郎著
- 最近の寫眞術　鎌田彌壽治著
- 歐米美術工藝小觀　豐泉益三著
- 漆とその工藝的應用　澤口悟一著
- 天平工藝の研究　六角紫水著
- 血壓と動脈硬化　上條秀介著
- 淋疾の話　荻原省三著
- 乳兒の榮養方法と小兒の便通　内村良二著
- スポーツと衛生　小笠原道生著
- 胃潰瘍の話　平野啓司著
- 中耳炎の話　石井正著
- 扁桃腺の話　高木愼著
- 肛門病の話　石井吉五郎著
- 胃腸病の話　吾妻俊夫著
- 法醫學の話　黒田啓次著
- むしばの話　柴田信著
- 指紋の話　芥川信著
- 最近のソヴェートロシヤ　昇曙夢著
- 支那勞農階級の生活　後藤朝太郎著
- 素質型と其の心理學的診斷　内田勇三郎著
- 笑の觀察　廣瀨哲士著
- 三民主義　岡部三郎著
- 大衆文學とジャーナリズム　木村毅著
- ジャズ音樂の話　鹽入龜輔著
- 支那の社會組織　西山榮久著
- トーキー　門倉則之著
- 石油の常識　小林久平著
- 人造絹糸とセルロイド　厚木勝基著
- 自動車の話　三木吉平著
- 硝子の知識　龍波元弘著
- 電送寫眞　丹羽保次郎著
- 高層建築　岸田日出刀著
- 都市の交通と地下鐵道　野坂相如著
- 水力の利用と水力タービン　宮城音五郎著
- フォードシステム　荒木東一郎著
- さびない鐵と鋼　加瀨勉著
- 性と遺傳　松田秀雄著
- 海苔と昆布　殖田三郎著
- 朝顔の話　今井喜孝著
- 相對性原理の話　石原純著
- 彗星の話　神田茂著
- 藥草と和漢藥　刈米達夫著
- 流星と隕石　神田清著
- 天然色寫眞　鎌田彌壽治著
- 日本の酒　佐藤壽衛著
- 森林と社會　鏑木徳二著
- 農村の行方　小野武夫著
- 臺所の設計と設備　櫻井省吾著
- 小住宅の洋風裝飾　山本秀太郎著
- 着物の流行と織物　鹿島英二著
- 近代生活の家と家具と裝飾　木檜恕一著
- 魚の味と選み方　木村金太郎著
- 洋食の作法　小山茂著
- 新しい小賣商店經營法　清水正巳著
- 廣告ビラと商店廣告　〃
- 賣上本位の陳列裝飾　中里研三著
- 電氣サイン及看板照明　田坂業夫著
- 飾窓の照明法　關重廣著

◎同文館發行◎

- 航空母艦　中島武著　·三〇　·一〇
- 飛行機の話　木村秀政著　·三五　·一〇
- 小銃と火砲　山縣保二郎著　·三五　·一〇
- 潜水艦の話　海軍協會編　·三五　·一〇
- 露地で出來る趣味の園藝　野崎信夫著　·三〇　·一〇
- 溫室園藝の話　加藤光治著　·三五　·一〇
- 毒瓦斯と其の防禦　箕作秋吉著　·三五　·一〇
- 便所の設計と設備　大澤一郎著　·三五　·一〇

經濟及商業
- 新自由主義　上田貞次郎著　二·三〇　一·一五
- 日本經濟史の研究　内田銀藏著　八·五〇　四·二五
- 經濟學說の相對性　猪谷善一著　二·八〇　一·四〇
- 増訂中世歐洲經濟史　瀧本誠一著　二·五〇　一·二五
- チード消費組合論　久我貞三郎著　三·二〇　一·六〇
- リーフマン經濟學原論　宮田喜代藏著　二·五〇　一·二五
- 經濟文陣　出井盛之著　二·五〇　一·二五
- 企業形態論　増地・槇原共著　二·八〇　一·四〇
- 株式相場物語　丹羽豐著　一·三〇　·六五
- 國際經濟政策　生島廣治郎著　二·八〇　一·四〇
- 事業統制論　上野陽一著　一·八〇　·九〇
- 社會改造と企業　上田貞次郎著　三·二〇　一·六〇
- 和蘭夜話　幸田成友著　二·八〇　一·四〇
- 水力タービン理論構造及び設計　小野信雄著　五·五〇　二·七五

社會・思想
- 社會思想家としてのジョン・スチュアート・ミル　大泉行雄著　一·八〇　·九〇
- 應用社會學十講　建部遯吾著　一·六〇　·八〇
- 滅びゆく階級　森本厚吉著　二·八〇　一·四〇
- 國體觀念の研究　池岡直孝著　一·九〇　·九五
- 無産階級運動と資本主義　北澤新次郎著　二·二〇　一·一〇
- 人種問題　赤神良讓著　二·五〇　一·二五
- 食糧問題　建部遯吾著　二·五〇　一·二五
- 植民問題　綾川武治著　二·五〇　一·二五
- 平和問題　山内雄太郎著　二·五〇　一·二五
- 現代文明と思想批判　建部遯吾著　三·二〇　一·六〇

教育・宗教
- 現代思潮大觀　同文館編輯所編　三·五〇　一·七五
- 國民主義と國際主義　竹林熊彦著　二·五〇　一·二五
- 兒童の社會問題　増田抱村著　一·五〇　·七五
- 職業指導　前田讓一郎著　一·六〇　·八〇
- 青年と語る　池岡哲太郎著　一·九〇　·九五
- 燕呉載筆　那波利貞著　三·八〇　一·九〇
- 性の原理　下田次郎著　二·〇〇　一·〇〇
- 生長する愛の生活　森本厚吉著　二·二〇　一·一〇
- 社會主義文化論　金子弘著　·六〇　·三〇
- 宗教問題及び神社行政　建部遯吾著　二·五〇　一·二五
- 現代歐米教育大觀　澤柳・小西・長田・下村・伊藤著　四·八〇　二·四〇
- 最新教育學大全 上下　谷本富著　七·六〇　三·八〇
- 新教育の樹立へ　原田實著　一·五〇　·七五
- 手工教育學原論　鈴木定次著　五·五〇　二·七五
- 時勢の要求實力の陶冶 算術教授の主張と實際　山本孫一著　二·三〇　一·一五
- 知能の本質　大伴茂著　二·五〇　一·二五
- 生活を教育にまで　志垣寛著　一·六〇　·八〇
- 適性考査法要領　増田幸一著　二·三〇　一·一五
- 丁抹國民高等學校の研究　野田義夫著　二·〇〇　一·〇〇
- 宗教學論集　帝國大學宗教研究會編　七·八〇　三·九〇
- 新商人道　有馬祐政著　·八〇　·四〇
- 商業文要訣　〃　·八〇　·四〇
- グループ式譯し方　浦口文治著　一·八〇　·九〇

家庭
- 美容衛生　岡田道一著　一·五〇　·七五
- 乳兒の保護　三田谷啓著　二·五〇　一·二五
- 日本模範童話選集　長沼依山著　一·八〇　·九〇
- 童謠と童心藝術　野口雨情著　一·八〇　·九〇

◎四六書院發行◎

文藝・娛樂
- 麻雀競技法とその秘訣　林茂光著　一·三〇　·六五
- 舞臺裝置者の手帖　吉田謙吉著　三·五〇　一·七五
- 歌劇大通　伊庭孝著　一·二〇　·三〇
- 戯曲集 女人哀詞　山本有三著　二·五〇　·五〇
- 喜劇集 昨今横濱異聞　岸田國士著　二·二〇　·五〇
- 山岳短篇小說集 三人と死　坂部護郎著　·九〇　·三〇
- 樂聖をめぐる　藤木義輔著　一·二〇　·三〇

國際プロレタリヤ文學選集（定價 ·三五　特價 ·一〇）
- 阿Q正傳　林守仁著
- 蜂起　歐佐起著
- 銃殺されて生きてた男　アンリ・バルビュス著 小牧近江譯
- オデッサ　P・ローラン著 桃井京次譯
- ス・パイ跳梁　オルシャンスキイ著 濱野修譯
- 將軍はベッドで死ぬ　ハリソン著 前田河廣一郎譯
- 革命の娘　マイケル・ゴールド著 阪井徳三譯
- 媾和とパン　エルンスト・グレーザー著 青野季吉譯
- N&K機械工場　ウィリー・ブレーデル著 柴田勇二譯

新でかめろん叢書（定價 ·八〇　特價 ·二〇）
- 風變りな人々　丸木砂土著
- 山、都會、スキー　石川欣一著
- 女五人の謎　松本泰著
- ハリウッドガアル　森岩雄著
- 近代愛戀帖　十一谷義三郎著
- 肥滿漢の嘆き　高橋邦太郎著

通叢書（定價 ·七〇　特價 ·二〇）
- スポーツ通　廣瀨謙三著
- 野珠通　橋戸頑鐵著
- 國技角力通　三木愛花著
- 新劇通　水木京太著
- 歌舞伎通　伊原青々園著
- 映畫通　立花高四郎著
- トーキー通　〃
- をどり通　小寺融吉著
- ダンス通　坪内士行著
- 俳優通　濱村米藏・川尻清潭著
- 藝妓通　花園歌子著
- 日本音樂通　田邊尚雄著
- 日本俗曲通　中内蝶二著
- 謠曲と能樂通　横井春野著
- 西洋料理通　秋山徳藏著
- 支那料理通　後藤朝太郎著
- 日本料理通　楽満齋太郎著
- 鰻通　入江幹藏著
- 天麩羅通　野村雄次郎著
- 蕎麥通　やぶ忠 村瀨忠太郎著
- すし通　永瀨牙之輔著
- 酒通　鈴木氏亨著
- 菓子通　三好右京著
- 喫茶とケーキ通　門倉國輝著
- 煙草通　石川欣一著
- 洋裝通　マス・ケート著
- 探偵小說通　松本泰著
- 麻雀通　川崎備寛著
- 古今年中行事通　相馬直胤著
- 古今いかもの通　河原萬吉著
- 洋畫通　中川紀元著
- 日本畫通　横川三果著
- 園藝通　烏丸光大著
- 菊通　中山恒三郎・丸山雄二著
- 古書通　河原萬吉著
- 政黨通　來間恭著
- 犬通　藤井浩祐著
- 果物通　齋藤義政著